

平成29・30年度国立教育政策研究所
教育課程研究センター関係指定校事業（生活科）公開授業研究会

第25回東北小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会秋田大会
第14回秋田県小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会仙北大会

公開授業研究会 指導案・資料集

研究主題

「自ら課題をもち、進んで学ぼうとする子どもの育成」

～関わり合いながら、学びを深めていく指導を通して～



期日 平成30年11月2日（金）

会場 秋田県仙北市立生保内小学校



仙北市田沢湖高原温泉郷
ご当地キャラクター
「オモテナシ3兄弟」

生活科 指導案

第1学年 生活科学習指導案

指導者 T1 鎌田 真寿美
T2 中村 朱莉

1 単元名

あきの おもちゃまつり

2 単元の目標

身近な自然物や身の回りにあるものを使っておもちゃを作り、遊ぶ活動を通して、遊びやおもちゃを工夫してつくることができ、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうする。

3 単元を展開するに当たって

(1) 子どもについて(男子22名・女子10名、計32名)

毎日明るく元気に学校生活を送っている子どもたちである。入学後は、生活科を中心とした約1か月にわたるスタートカリキュラムの下、分かりやすく学びやすい環境づくりをすることで小学校生活になれることができた。様々な学習に意欲的に取り組み、「できた!」という達成感に手ごたえを感じ、友達に積極的に関わり声をかける姿も見られる。

これまでの生活科の学習では、入学後に「がっこうたんけん」として2年生から校内を案内してもらい、各教室の特徴や気を付けることを説明してもらった。探検の途中でも先生方や上級生に声をかけてもらい、とても楽しく校内を探検することができた。また、「せんせいたちとなかよくなりしたい」という思いや願いが生まれ、自分の名刺を作り、それを持参して自己紹介をして回ったり、仲良くなった先生からサインを書いてもらったりするなどした。そのような活動を通して多くの人々が学校を支えていることに気づき、安心して学校生活を送ろうとすることに意欲をもつことができた。しかし、縦割り活動など他の学年と関わる際には、校内では最も年下であることもあり、教えてもらったり、面倒を見てもらったりする場合がほとんどであり、保育園在園時にはできていたことが発揮されいかなかったり、上級生に甘えてしまったりする側面も見られる。

「ぼくのあさがお・わたしのあさがお」の単元では、花の美しさや小さな種から発芽し大きく育つことをはじめ、葉の形が生長に伴い違うこと、花は昼頃には萎んでしまうことなど、自然の素晴らしさや不思議さにたくさん気付くことができた。友達同士で互いに花を見比べながら話したり、気付いたことを絵や文に表したりすることを通して、気付きや思いを表現する力が少しずつ身に付いてきている。一方で、秋の自然物については、「葉が赤くなる」「どんぐりをとったことがある」という程度で、じっくりと向き合って不思議さを感じたり、それらを使って遊んだりする経験は少ないと思われる。

関連する教科の学習として、図工では、「しぜんとなかよし」の単元において、草花や石を用いてお面をつくったり、食べ物に見立てたりする活動をしている。また、「おさんぽトコトコ」の単元においては、転がる仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、身近な材料を使って工夫することの楽しさに気づき、つくったおもちゃで友達と一緒に遊ぶ姿も見られた。また、振り返り際には、「おもちゃで遊んで楽しかった」「おもちゃの動き方がおもしろかった」というようなおもちゃのもつ面白さや不思議さに気付いている。

(2) 単元について

本単元は、生活科の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうする」を受けて設定した。

前単元の「たのしいあきいっぱい」では、春に訪れた公園に再度出かけ、たつぷりと秋ならではのどんぐりなどの木の実や紅葉した葉に触れることで、四季の変化や自然の不思議さに気付くとともに、それらを使ったりするなどして「もっと楽しみたい」「みんなで遊びたい」という思いや願いが出てくることが予想される。じっくりと対象と触れ合うことで、どんぐりの転がり方のおもしろさや、一枚として同じ色合いのものが無い葉などへの気付きが生まれたり、それらで何か作りたいという思いや願いも自然に湧いてきたりすることが期待できる。自然物と身近な材料を使いながら、「繰り返しつくる」「試す」活動の中で、自然の面白さや自然の不思議さをはじめ、形や素材によっておもちゃが変わることへの気付きが生まれ、さらに遊びやルールを工夫したりすることでさらなる楽しさなどを実感できると考える。

また、活動を通して少しずつ友達との関わりが広がっていく中で、遊びやルールを創り出すという段階へとステップアップしていくことが期待されるとともに、友達をはじめ、身近な人たちと関わることのよさを意識化することができると思われる。

(3) 指導に当たって

① 思いや願いをもって「ひと・もの・こと」と関わるために

- ・前単元「たのしいあきいっぱい」で、春にも訪れた生保内公園へ出かけ、自然の中でたつぷりと「秋」に浸らせるようにする。そして、秋ならではの「もの」に十分触れることができるように、落ち葉の「カサカサ」という音や重なり合う葉っぱの「ふわふわ」した感じに触れさせたり、一枚一枚違う表情を見せる落ち葉を並べさせたりするなど、自然の美しさや不思議さに触れる場を設定する。
- ・おもちゃづくりの際には、友達同士で見合ったり相談したりすることができるように、自分がつくったものを紹介する場面を設定する。さらに、「ひと」との関わりをもたせるため、あさがおの単元で経験したように、本を用いて調べる他、祖父母など家族に聞いてきたり、学校内の先輩たちなどに尋ねたりすることも勧めていく。
- ・自らの成長を自覚することができるように、保育園児を招待して活動する際には、昨年度の経験を振り返り、その時の気持ちも想起させたりすることで、「今度は自分たちが招待する番だ」「どんなことをしたら、喜んでくれるかな」などと意欲を高めていく。

② 気付きの質を高め、表現するために

- ・個の気付きを全体へと広げられるように、伝え合い交流する場面を大切にしたい。個々のつぶやきを拾い周囲へと投げかけたり、「これは何かな?」「どうしてこうなったのかな?」などの疑問を教師が問いかけたりするようにする。そして、引き出したつぶやきをみんなで考え、何かにとえたり、類推したりしながら、気付きを整理することで質を高めていきたい。
- ・どんぐりごまは形によってこまの回り方が違うこと、けん玉は入れ物や玉の大きさ、紐の

長さによって難易度が変わってくるなど、それぞれおもちゃづくりを通して様々な気付きが生まれるように、材料コーナーに材質の違うものや大きさの異なるものを準備する。また、材料については、家庭にも呼びかけをし材料集めから関わらせ、材料の特徴にも気付きができるように、集まったものを見たり、触ったり、分類したりするような場を設定する。

- ・自分と友達とのつながりを大切にしながらみんなで遊びが創り出せるように競争したり、点数を付けたりなど、遊びが発展するような環境を整えておく。また、友達と遊ぶことの楽しさを実感できるように振り返りカードの欄を工夫し、気付きを積み重ねていきたい。
- ・自分たちが工夫することによって園児と一緒に楽しく遊ぶことができる、人を喜ばせることができるということにも気付くことができるように、園児と交流する際には、園児から感想を言ってもらったり、先生方から昨年の子どもたちと比較した様子を語ってもらったりする。

単元を通して、振り返りの際に「ありがとうタイム」を設ける。振り返りカードに友達への「ありがとう」を簡単に記入する欄も設け、「よいアドバイスもらった」「一緒に考えてくれた」など様々な「ありがとう」を伝え合うことで、自尊感情や自己有用感を高めていくことができるようにする。また、おもちゃをつくる際には、きりや押しピンなどの道具を使用するが、安全面を配慮し活動前に注意点を十分指導するとともに、校務員にも協力を仰ぐ。

☆本単元につながる幼児期の子どもの姿

園では、牛乳パックを使ってくじ箱をつくったり、段ボールで店をつくり、毛糸を麵に見立ててラーメン屋さんごっこをしたりして遊んだ。また、ゴムを使って押すと飛ぶおもちゃやセロテープの芯を使って転がるおもちゃなど、それぞれの特徴を生かしたおもちゃもつくった。その他にも段ボールや画用紙、廃材など身近な材料を使って、様々なものをつくった経験をしている。

また、「トマトおに」や「バナナおに」など、多様なおにごっこ遊びの経験もあり、遊び方やルールを工夫すると遊びのバリエーションが増えたり、もっと楽しくなったりすることも知っている。

4 単元構想図

自然のもつ不思議さや面白さがわかり、季節が変わっても進んで自然と関わったりそれらを使った遊びを創り出したりしようとする。また、みんなで楽しく遊ぼうとする。

☆ 学びに向かう力，人間性 ☆

絵

文

おもちゃまつりを振り返る（表現）

秋のものって、不思議で楽しい遊びがいろいろできるんだ。

自分たちで遊びを考えるのって、楽しい。

保育園のみんなが喜んでくれた。がんばって準備をしてよかった。

友達と考えたり遊んだりするのって、とても楽しいことなんだな

園児を招待するために準備をする（体験）

やり方はやさしく教えたほうがいいね。

もっとかんたんなルールにするといいかも。

見付ける 試す 見通す 工夫する

絵

文

秋のおもちゃまつりをひらく（体験，表現）

みんなで遊ぶとやっぱり楽しい。

おもちゃでなく、飾りでも楽しく遊べるよ。

友達に教えてもらったことが役に立ったよ。

見付ける 比べる 試す 工夫する

おもちゃを紹介し合う（表現）

松ぼっくりもおもちゃにできるんだね。

友達と一緒に遊んだら、楽しく競争できたよ。

見付ける 比べる

これまでの学習を振り返る（思いや願い）

どんぐりを使って、遊んでみたいな。

きれいな葉っぱをどこかにかざりたいね。

教科書におもちゃずかんがのっているよ。

何かおもちゃをつくらしてみたいな。

おもちゃまつりに招待する（体験，表現）

競争するとみんな夢中になっていたよ。

見本でやってみせるとすぐに分かってくれた。

見付ける 試す 比べる

せっかくだからもっとたくさんの人と遊びたいな。

去年は、今の2年生がぼくたちを招待してくれたね。

今度は私たちが保育園のみんなを招待しようよ。

みんなで競争して遊んでみたいな。

友達がつくれたおもちゃで遊んでみたいな。

おもちゃをつくる（体験）【本時】

大きさの違うどんぐりを使うと回る速さがちがうんだ。

松ぼっくりは、けん玉の玉のところに使えるよ。

見付ける 比べる 試す 見通す 工夫する

生保内公園へ行って、季節の変化を感じるとともに、どんぐりや紅葉した葉を拾ったりした。また、それらを使っておもちゃをつくり、みんなで遊びたいと思っている。

6 本時の実際 (3 / 1 2)

(1) ねらい

もっと楽しいおもちゃにするために、試したり、比べたりして、おもちゃそのものやその遊び方を工夫することができる。

(2) 学習の実際

学 習 活 動	予想される子どもの姿	形態	○教師の支援 ●つまづいている子への手立て ☆評価 (方法) 【観点】
<p>1 前時につくったおもちゃを見せ合う。</p> <p>2 学習課題と学習の流れを確認する。</p>	<p>・ぼくは、どんぐりごまを2こつくったよ。</p> <p>・わたしは、マラカスをつくったよ。</p> <p>・わたしと同じだな。</p> <p>・すごくよく回るこまをつくりたいな。</p> <p>・同じおもちゃの人と競争してみたいな。</p> <p>・箱に点数を書いたら面白くなりそうだな。</p>	<p>全体</p> <p>全体</p>	<p>○活動の中で友達に相談したり一緒に遊んだりすることがスムーズにできるように、同じおもちゃをつくった人を確かめる場面を設ける。</p> <p>○個々のめあてがしっかりもてるように、どうしたら「もっとたのしく」なるのかについて考えさせる。 例) 「よく回るように…」 「競争したら…」 「点数をつけたら…」 など</p>
<p>(めあて) もっとたのしいおもちゃにしよう! もっとたのしくあそぼう!</p>			
<p>3 試したり、比べたりしておもちゃづくりをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想されるおもちゃ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりごま ・やじろべえ ・けんだま ・まといれ ・さかなつり ・マラカス ・たいこ ・ネックレス ・かんむり </div> <p>4 学習を振り返り、カードに書く。</p>	<p>・どっちが長く回っているか、競争しよう。</p> <p>・早く3回入った方が勝ちってことにしよう。</p> <p>・やじろべえがうまくいかないな。どうしてだろう。</p> <p>・こまがすぐに止まってしまう。長く回す方法はないかな。</p> <p>・もっとたくさん作って並べてみたいな。</p> <p>・どっちが早く3回入るか競争したのがおもしろかった。</p> <p>・最初はこまがうまく回らなかったけど、友達が教えてくれたら、最強のこまができた。</p> <p>・他にもつくってみたいな。</p>	<p>個または小集団</p> <p>個・全体</p>	<p>○一人一人の子どもの前時までの進み具合や今日のめあて等を基にして気付きを拾ったり、変容の様子をとらえたりすることができるように、T1・T2で場所を交代しながら場所を活動の様子を見守る。</p> <p>○どんぐりの穴開けは手を怪我する恐れがあるので、校務員に専属でついてもらう。</p> <p>○困っている子どもが多く見受けられる場合には、ヒントとなるよう情報交換ができる時間を設ける。</p> <p>●うまくいかず困っている際には、一緒に考えたりヒントを出したりする。また、同じおもちゃをつくっている人を確かめ、なるべく子ども同士で関わりながら解決できるようにも促す。</p> <p>○次時の活動につなげられるように、振り返りの中から、もっとやってみたいことや友達のおもちゃの真似したいところなどを発表させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆試したり、比べたりして、おもちゃのつくり方や遊び方を工夫している。 (行動・会話・シート) 【思考力、判断力、表現力の基礎】</p> </div>

第2学年 生活科学習指導案

指導者 小松 由美子

1 単元名

もつとなかよし まちたんけん

2 単元の目標

- 地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり働いたりしている人々と自分たちの関わりについて考えることができるとともに、自分たちの生活は地域の人々や場所と関わりをもっていることや地域のよさが分かり、地域の人々と適切に接したり、親しみや愛着をもって生活したりしようとする。
- 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

3 単元を展開するに当たって

(1) 子どもについて（男子10名・女子12名、計22名）

明るく素直で、どのような活動にも一生懸命に取り組もうとする子どもたちである。また、友達をはじめ、自分たちがお世話になっている人に手作りの贈り物をしたり、自分の気持ちを書いたお手紙を渡したりすることが好きで、人に喜んでもらうためにはどんなことができるかを考え、感謝の気持ちを素直に伝えることができる。

生活科の学習にとっても意欲的で、これまでも探検したり、育てたり観察したりするなど楽しんで取り組んできた。特に、6月の「まちたんけん」では、様々な植物を見付けたり、多くの人々と出会い会話をしたり、やりとりを通して関わりを深めてきている。また、探検に繰り返し出かけたことで、数々起こる出来事に驚いたり、喜んだりするなど、学校内では体験できないような心に残る学習を経験している。道行く人や探検先での人との出会いを通して、「おぼないって、いい人がいっぱい！」という子どもたちのつぶやきがたくさん聞かれた。学校に戻ってからの探検レポートづくりの内容には、探検先の人々の気持ちを考えた記述もあれば、店内に飾っていたものについての感想を書いているものもあった。また、その後にした手紙には、お礼の言葉だけでなく、「またいつか探検させてほしい」「お手伝いをさせてほしい」と思いや願いが書き添えられているものもあった。

伝え合う活動では、探検先が同じ子どもたちがグループになり、全員で床地図を囲みながら伝え合う活動をしたが、音声言語が中心の表現になってしまい、子どもたちが探検で感じたり、気付いたりしたたくさんものを思うように伝えることができなかつたようである。

また、生活上の必要な習慣においては、気持ちが高揚してくると注意が散漫になり、けがをしたり、活動の終了時刻を守ることができなかつたりする児童が数名いる。そのため、「安全の意識を高める」「施設や公共の場所でのルールやマナーを守る」「時間を守る」ことも地域の方と関わる上で大切だということに気付かせるとともに、継続的な指導が必要である。

(2) 単元について

本単元は、生活科の内容(3)「地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっ

ていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする」と、(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする」の2つの内容の関連を図り、設定したものである。

6月の「おぼないのまちへとびだそう」の学習後、探検した店に家族と一緒に出かけ、買い物をしたり、食事をしたりしながら、さらにつながりを深めていた様子が見られた。そのような様子を踏まえて、夏休み中の課題として「まち新聞」の作成を提示し、一人一人の興味や気付きが表れたものが提出された。それらをみんなで見合いながら、前回の探検を想起し、見つけた「もの」や「こと」、出会ったりお世話になったりした「ひと」が今はどうしているのか考えることを通して、「また探検に行きたい」という思いが自然に湧いてくるものと思われる。このような思いを基に学習をスタートしながら、本単元では、6月の発表を振り返り、探検してみたい場所だけでなく、その理由を確認しながら、前回同様「おさんぼたんけん」という形でまちを自由に歩く場を設定する。前回と異なる秋という季節を体で感じながら、また前回の探検メモと比べることで、共通点や変化に気付いたり、新たな発見をしたりすると思われる。そういった気付きを互いに伝え合うことで、さらに次の探検への意欲につながるとともに、見付けてきた気付きを分類することを通して、「もの」や「こと」から、地域に住む「ひと」にも興味や気付きが広がっていくと思われる。そこで生まれてくるであろう一人一人の様々な「もっと〇〇したい」という思いや願いが探検の視点の明確化につながり、次の探検がより充実したものになると期待される。それらの視点の中の「もっとなかよくなるには、どうしたらよいのか」という思いや願いは、自分たちが一緒にしてみたいことや、自分たちができることを考えることにもつながり、地域への愛着、ひいてはそこに暮らす自分たちとの関わり、自分の成長への気付きとなることが期待される単元である。

(3) 指導に当たって

① 思いや願いをもって「ひと・もの・こと」と関わるために

- ・本単元の前の、「のりものによって出かけよう」と「こんにちは生保内としょかん」では、施設等の利用の仕方のルールを学ぶだけではなく、仕事をしている人たちに注目できるように、フィールドワークに出かけた際は、お世話になった人たちが何人いて、どのように関わってもらったかに気付くことができるように学習シートを構成する。
- ・6月の探検で気付いたことや夏休みの「まち新聞」の内容を類型化し、子どもたちの興味や関心が、まちのどんなよさに向いているのかを予め確認しておく。その上で、導入において、6月の探検や夏休みの「まち新聞」の内容を学級全体で振り返ることで、まち全体の特色を思い出し、自分が訪れたい場所や触れ合いたい人のイメージをもった上で「おさんぼたんけん」ができるようにする。
- ・探検の目的をはっきりもつことができるように、「おさんぼたんけん」で見付けてきた「ひと」「もの」「こと」の情報量の違いを色分けした付箋で量の多い「もの」「こと」が「ひと」につながることを確かめ、次の探検の前にお店の人の声や作業している音などを聞き、考えさせることで、「ひと」に目が向くようにする。
- ・本単元のまとめでは、自分たちのまちのよさをだれかに伝えたいという気持ちをもつと思われるが、発表会をすることが最終の目的ではなく、「毎日元気にあいさつを交わす」「大好きな気持ちを表す」など、自分たちがまちの人とどのように関わることができるのかな

ど、子どもたちの等身大の考えや思いを大切にします。

② 気づきの質を高め、表現するために

- ・「おさんぼたんけん」では、共通点や変化に気付いたり、新たな発見につながったりすることができるように、6月の探検の際に用いたメモを活用する。
- ・地域にはいろいろな人がいることや場所と人の関係、場所と場所の関係にも気付くことができるように、「おさんぼたんけん」で見付けてきたことを、「ひと」「もの」「こと」の種類ごとに分け記述し、それらを分類しながら確かめる。
- ・2回目の探検後の表現活動では、自分なりにまちのよさを表現できるように、「だれに」「何を」伝えたいのか、またそれぞれの「理由」をじっくり考える時間を大切にする。さらに、それらの思いを十分に表現できるように、道具をつくったり、店の人の動きを再現したりするなど様々な方法があることを確認したり、個々で試行錯誤する場や時間を設定したりしながら、準備を進めるようにする。
- ・一人一人が見付けたまちのよさをつなぎ合わせることができるように、学級全体で伝え合う活動を「おぼないまちめぐりツアー」とし、実際に歩いたまちの中をもう一度、みんなで歩きながら探検している場にする。また、まち全体における「もの」「こと」「ひと」の散らばりとともにつながりを視覚的に捉えやすくしたり、さらに自分との関わりに気付いたりすることができるように、地図にシールを貼るなど工夫をする。

単元を通して、これまでも触れ合っている地域の人ともっとなかよくなるとはどういうことなのかを考えながら学習を進めていく。そのためには、探検を通して自分たちに何かをしてもらうということに留めず、自分たちができることについても考えることで、地域で暮らす自分たちへの気づきにつなげ、自己有用感を高めていくことができるようにする。

☆本単元がつながる中学年以降の子どもの姿

本単元の学習は、中学年以降の社会科における社会的事象の見方・考え方を育成するという点で、大きな関わりがある。地域探検を繰り返すことによって、以前とは違うまちの様子に気付いたり、それぞれの子どもたちの探検先の店や建物が相互につながり合って生活が成り立っていることなどを考えたりすることが、身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動と消費生活の様子などを人々の生活との関連を踏まえて理解するという第3学年の社会科の目標につながるものと思われる。

さらに、一人一人の子どもたちが自分のこだわりを大事にして学習を進めていく姿勢が、社会的事象について主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことにもつながると考えられる。

また、探検の際、見付けた植物を「かわいい」「何という名前の花だろう」「この前までは咲いてなかった」などの気づきは、自然に親しむという理科の学習につながる。また、「比較する」「関係付ける」などの活動は、中学年以降の科学的な思考力・判断力・表現力の育成へとつながっていくと考えられる。

4 単元構想図

生保内のまちが大好きになり、すてきな場所や、優しい人がいっぱいの生保内のまちの一人として、これからも地域の人たちとふれ合いながら、元気に生活しようとする。

☆ 学びに向かう力，人間性 ☆

手紙 文 絵

まち探検を振り返る（表現）

お店のおじさんのような人になりたい。

生保内にはすごい人がたくさんいるんだね。

またいつか家族と一緒に買って買い物したい。

〇〇さんに会ったら、あいさつしよう。

おうちの人にも紹介したいなあ。

お世話になった人を学校に呼ぼうよ。

せっかくだから、1年生や先生たちも招待しようよ。

まちの人ともう一度ふれ合う（体験）

準備や後片付けにもたくさん時間がかかるんだ。

お仕事にはちょっとしたコツがあるんだね。

簡単な思っていたけどどの仕事も大変なんだなあ。

見付ける 比べる 試す

絵 文 写真

探検で見付けたことを伝え合う（表現）

〇〇のおじさんは、今もおしごとをがんばっていた。

季節に合わせて店の飾りを変えているんだ。

〇〇くんが言っていたとおり、お店の前はとていいにおいだった。

見付ける 比べる たとえる

これまでの学習を振り返る（思いや願い）

春は〇〇だったけど、今はどうなっているのかな？

また、〇〇に行って、仕事を手伝ってみたいなあ。

夏休みも家の人と買い物に行ったよ。

お店のおじさんは元気な。

手紙 劇 ペーパーサート 絵

「まちのすてき発表会」をしよう（表現）

うちの人も楽しそうに、発表を見てくれた。

しょうずだねって、ほめてもらったよ。

友達と協力して準備をたくさんがんばってよかった。

見付ける 比べる たとえる

劇 ペーパーサート 絵 写真

まちのすてきを伝えよう（表現）【本時】

〇〇のお店の人はやっぱりすごい。

おぼないのまちには名人がいっぱいいるんだ。

おぼないの人たちはみんなやさしいね。

見付ける 比べる たとえる 工夫する

春の時に行きたかった〇〇に行ってみたいな。

〇〇で〇〇の作り方を教えてもらいたいな。

〇〇さんが前に行ったところに行きたい！

今度は仕事を手伝ってみたい。

秋のおさんぼたんけんに出かける（体験）

〇〇のおじさん、元気そうだ。

〇〇の近くにあったのがなくなっている。

さんまやくりなど秋のものが売られているね。

こうえんにはすすきやコスモスがいっぱいだな。

見付ける 比べる たとえる

春の探検では店などに出かけ、たくさんの体験をし、地域のよさをたくさん見付けることができた。もっと地域のよさを見付け、地域の人たちと触れ合いたい。

6 本時の実際（14／18）

(1) ねらい

地域で生活したり働いたりしている人々や場所が、自分たちの生活を支えていることに気付くことができる。

(2) 学習の実際

学 習 活 動	予想される 子どもの姿	形 態	○教師の支援 ●つまづいている子への手立て ☆評価（方法）【観点】
1 学習課題と学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 今日はどんなすてきなものを見ることができるのかな。 	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちにドキドキワクワクするような臨場感をもたせるため、教室全体をまちに見立てるような場の設定をする。
<p>(めあて) 「(2日間の) おぼないまちめぐりツアー」でまちのすてきを見つけよう！</p>			
2 教室の中のまちをめぐりながら、自分の伝えたいことを表現したり、友だちに質問したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・作り方が伝わるように演じよう。 ・おじさんの大変さが伝わるように演技しよう。 ・楽しかったことを上手にレポートしよう。 ・おいしそうな○○を絵に表したからその説明をしよう。 ・○○に行った人たちは何を見つけてきたんだろう。 	全体 または グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○ツアー中のそれぞれの場所の感想を書き込めるように「ツアーのしおり」(シート)を用意する。 ○伝える側は地域の人立場に考えたり、地域の人気持ちを考えた発表になるように、発表の場には地域の人顔写真や仕事をしている場所の様子分かる写真や道具などを準備しておく。
3 ツアーで気付いた生保内のまち全体のよさをみんなで確かめ合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生保内のまちのいろいろなところにお店がある。 ・生保内のまちには技をもったすごい人がたくさんいる。 ・生保内にはまた行ってみたいと思うところがいっぱいある。 ・生保内のお店の人はみんなやさしい。 	個 ↓ 全体	<ul style="list-style-type: none"> ●生保内のまちがどんなまちなのかを子どもたちなりの言葉で表現できるように「ツアーのしおり」(シート)を見ながら考えさせる。 ○縮小したまちの地図を黒板に貼り、シールで色分けし、町のあちこちに、すてきな「もの」「こと」「ひと」が分散していることに気付かせ、町全体のよさについて確かめ合うことができるようにする。
<p>☆交流を通して、地域のよさやそれらを支えている人がいることに気付いている。 (シート) 【知識及び技能の基礎】</p>			
4 本時を振り返り、次時の活動を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのすてきを家の人に伝えたいな。今度は一緒に出かけたいから。 ・まちのすてきを一年生に伝えたいな。知らないことがきっとあるから。 	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○地域への自分の思いをさらに深められるように、今日のツアーに次回は「だれを」連れて行きたいかを問うとともに、その理由も発表させる。

総合的な学習の時間 指導案

第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 小松 大貴

1 単元名

すてき発見，田沢湖！ パートⅡ ～「すてき」さがしに出発だ！～

2 単元の目標

自分の住んでいる地域のすてきな人や場所，ものについて，実際に訪ねたり他者と関わりながら調べたりする活動を通して，ふるさとのよさやそれを支える人々の努力や思いに気づき，それらに対する自分の思いを表現できるとともに，ふるさとに対する誇りと愛情を高め，ふるさとを大切にしようとする態度を育てる。

3 単元を展開するに当たって

(1) 子どもについて（男子17名・女子16名，計33名）

明るく，様々な活動に関心を持ち，進んで取り組もうとすることができる子どもたちである。自分の思いを積極的に話したり，進んで人と関わろうとしたりする子どもが多い反面，自己の考えに固執したり，自己主張が強く出てしまったりする子どももおり，自分の思いを通そうとし過ぎることによるトラブルも多い。総合的な学習の時間は，特別支援学級の子ども1名も支援を受けながら一緒に学習している。

子どもたちは昨年度までの生活科の学習で，地域めぐりをして，人のあたたかさを感じている。今年度に入り，「すてき発見，田沢湖！パートⅠ」として，田沢湖地区のよさの中から深く調べたい課題ごとにグループをつくり，主にインターネットや図書資料を使ったり，身近な人へのインタビューなどを通して学習を進め，まとめてきた。

パートⅠの活動が終わった時点で行ったアンケートでは，「これまでの総合的な学習の時間で分かったこと」として，調査活動を通して得た知識を挙げていた子どもが多くいた。子どもたちには，自分たちがすてきだと思ふ対象についての知識が身に付いたことが分かった。

しかし，パートⅠの活動は校内での調査活動が主であったため，その調査対象がなぜふるさとのよさであるのかなど，実感を伴った深い理解には至っていないのが現状である。人々との関わりについても，よさを支える人々の存在を理解できていても，思いや願いまでは考えが至っていない。さらに，よさに対する理解がまだ表面的であるため，ふるさとに対する誇りや愛情が希薄であり，よさに対する実感を伴った理解と，それを支える人々の思いや願いを考えられるようになって初めて，ふるさとに対する誇りや愛情が高まっていくと考えている。

(2) 単元について

本単元では，「すてき発見，田沢湖！パートⅠ」の学習を受け，ふるさとのよさやそれを支える人々の思いを体験的な活動を通して深く探っていくことを目指している。パートⅠの活動において，子どもたちは調査を進める中で，「すてき」について自分なりにまとめて知識をもつことができた。しかし，それはあくまで文字や写真，映像を通じた理解であり，子ども達にとっては実感を伴った体験的な理解ではない。そこで，本単元では，自分で訪問した先で実物を見たり触ったり，時には味わったりといった体験をすることにより，ふるさとのもつよさを五感をもって感じ，自分の言葉で生き生きと伝えられるようになることを期待している。また，その際に様々な人との触れ合いを通して，ふるさとのよさを守るためにはたくさんの人々の思いや願い，努力が関係していることにも気づき，その人たちの存在もまたかけがえのないふるさとのよさであることにも気付くことができると思われる。

田沢湖地区のご当地キャラクターであるオモテナシ3兄弟と、『田沢湖「すてき」調査隊』を結成し、オモテナシ3兄弟から調査依頼をされたという設定で、調査活動を進めていく。自分たちが調べた「すてき」をオモテナシ3兄弟に報告し、オモテナシ3兄弟のおもてなし活動に生かしてもらおう。そのことで、調査活動に対する達成感や、自分たちの活動がふるさとの発展に影響していくことに対する成就感を味わうことができるだろう。さらに、この活動を通して、自分たちが住む地域にある「ひと」「もの」「こと」に誇りをもち、ふるさとを大切にしようとする気持ちを高めていくことができる単元である。

(3) 指導に当たって

【本校の総合的な学習の時間のテーマ】

「ふるさとのよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども」

【本校の総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「ひと・もの・こと」に関する横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を以下のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域の「ひと・もの・こと」に関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、豊かな自然や観光資源に恵まれた地域の特徴やよさが分かり、それらに対する様々な人々の思いや願いとともに、努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域の「ひと・もの・こと」の中から課題を見付け、その解決に向けて予想を立てたり、情報を集めたりして、それらを整理・分析する力を身に付けるとともに、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域の「ひと・もの・こと」との関わりを通して、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの思いや願いを生かしながら、ふるさと仙北市に対する誇りと愛情を高め、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

○ ふるさとのよさに気付かせるために

- ・実際に訪問しての体験的な調査活動を設定することで、ふるさとのよさについて実感を伴って理解することができるようにする。

○ ふるさとの発展に貢献する意欲や態度を育てるために

- ・単元の終末で、調査して分かったふるさとのよさを発信する場を設定することで、自分たちの調べたことが地域に広がっていくことに気付けるようにする。

○ 自分のよさに気付かせるために

- ・自己やグループでの評価活動を積み重ねることで、これまでの学びを振り返り、自己の変容に気付けるようにする。

本単元の課題設定では、田沢湖地区のご当地キャラクターであるオモテナシ3兄弟から、仙北市の「すてき発見」の調査依頼を受けたという場面を設定することで、調べたことを発表する相手意識をもたせ、パートⅠの調査テーマをさらに深く追究していくことへの必要感を感じさせられるようにしたい。調査活動の計画を立てる際は、「すてき」を発見することができる訪問先を自分たちで決め、訪問のお願いをしたり、現地までの交通手段や時間、料金について調べたりしながら進めていく。そのために調査活動の手引きを準備し、子どもたちに主体的に活動させていきたい。調査活動では、感じたことを自分の言葉で生き生きと表現できるように、「五感」を視点として与えたり、ふるさとのよさを支える人々の営みについても目が向けられるように、インタビューの内容を事前に指導したりしていきたい。これ

らの活動を通し、対象や目的に合わせて進んで情報を収集・蓄積していく力や、それらを分類する力、課題解決のために積極的に他者と関わろうとする力を育てていきたい。

本時では、体験先での活動からまとめた「五感」ごとのカードやお世話になった人々の紹介カードを基に、調査テーマのいちばん伝えたいよさについて話し合い、それを端的に伝えるキャッチコピーを考えさせる。掲示資料を使い、キャッチコピーのイメージや、活動の見通しを視覚的にもてるようにしたい。同じテーマごとにグループを組んではいるが、子どもたちの興味・関心や明らかにしたいことはそれぞれ微妙に違っていると思われる。子どもたちが訪問先で気付くことや感じることもまた、それぞれに違うだろう。しかし、子どもたち一人一人が伝えたいことや感じたこと、さらにはそれを支える人々の思いや願いすべて言い表せるキャッチコピーを考えていくことを通し、調査対象がもつ「すてき」の本質や、それを守ろうとする人々の営みへも思いを深められるようにしたい。

4 単元の評価規準

ア) 知識及び技能	イ) 思考力・判断力・表現力等	ウ) 学びに向かう力、人間性等
<p>①地域のよさや特徴に気付き、よさや特徴を支えている様々な人々の努力や工夫、願いが分かっている。</p> <p>②情報を比較・分類するなど、探究の課題に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>①生活や体験を通して気付いたことや疑問に思ったことを基に、調べてみたいことを見出し、課題を設定している。</p> <p>②課題解決の方法を考え、学習計画を立てている。</p> <p>③対象や目的に合わせて進んで情報を収集したり、蓄積したりしている。</p> <p>④集めた情報を比較したり、分類したりするなどの整理を通して、特徴を見付けている。</p> <p>⑤分かったことや学んだこと、自分の思いや考えを、相手や目的に応じて、分かりやすくまとめたり、伝えたりしている。</p>	<p>①課題解決に向けて、体験や活動対象に素直に関わるなど意欲的に取り組んでいる。</p> <p>②相手の立場や気持ちを考えながら、他者と協力して課題を解決している。</p> <p>③自分や友達のよさに気付き、自分のものの見方や考え方に気付いている。</p> <p>④自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解している。</p> <p>⑤自分と地域とのつながりに気付き、地域のよさを大切にしようとしている。</p> <p>⑥自己の生き方を考え、夢や希望をもとうとしている。</p>

5 単元構想図

自分の五感を使って調査活動を行ったことで、田沢湖地区には他の地区にはない「すてき」が存在していることを実感的に理解し、それを自分の言葉で語る事ができている。また、それを支える人々の営みも理解することができている。

【まとめ・表現】考えた方法で地域に発信する。

だれかに伝えるためには、まず自分がきちんと知ることが大切だ。

わたしたちも地域のために役に立てた気がする。

【情報の収集】調べたことを発信するための効果的な方法について、情報を集める。

たかめる

【整理・分析】調べた「すてき」を効果的に発信するための方法を考える。

自分たちで調べた「すてき」を発信していこう。

【課題の設定】調べた「すてき」を発信するための方法を考え、自分たちの手で発信しよう。

田沢湖駅に掲示してもらおうのほうかな？

お家の人達にも見てもらえれば、発信したことになりそうぞ。

【まとめ・表現】調べたことをオモテナシ3兄弟やお世話になった方々へ発表する。

田沢湖にはこんなに「すてき」があるんだな。

オモテナシ3兄弟にだけじゃなく、地域にも伝えたいな。

ひろげる

【整理・分析】調べた情報をもとに、自分たちがいちばん伝えたいことについて考える。**本時**

【情報の収集】グループごとにフィールドワークに行き、五感を使って課題について調査する。

温泉も気持ちいいけど、そこから見える景色もきれいで気持ちいいな。

クニマス未来館では、職員の人達がほこりをもってクニマスを守っているんだ。

みんなが発見したことを一言で表すとしたら、「ここよさ」だね。

クニマスやそれに関わる人達のキーワードは「ほこり」かもしれない。

【オリエンテーション】田沢湖地区の「すてき」の中で深く追究していきたいテーマを考える。

実際に〇〇に行って調べてみたい。

クニマスについてもっとくわしく調べていきたい。

つなげる

田沢湖地区の「すてき」を、自分の五感でもっとくわしく調べよう。

【課題の設定】オモテナシ3兄弟との交流を通し、五感を使って深く追究していきたいテーマを考える。

温泉に実際に入ってみると、温泉のよさをもっと伝えられそう。

クニマス未来館に行ってクニマスをどう守っているか実際に見てみよう。

自分たちのふるさとについて、「すてき」だと思うことや自慢したいことについての知識はあるが、実感を伴った理解には至っていない。また、それを支える人々の思いや願いには考えが至っていない。

6 指導計画 (30時間)

時数	・主な学習活動	・教師の支援	評価規準 【評価方法】
1 3	<ul style="list-style-type: none"> オモテナシ3兄弟からの調査依頼を受けて、自分が調べる課題について考える。 課題ごとに調べていく方法を考え、訪問先を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動に目的意識や相手意識をもたせるため、オモテナシ3兄弟から「五感」や「すてきを守る人々」というキーワードを提示してもらう。 仙北市のパンフレットを活用したり、4年生に聞いたりしながら訪問先を決定する。 	イー①② 【行動観察・シート】 ウー① 【行動観察・シート】
4	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先や情報提供してくれる方に調査依頼をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動の手引きを用いて調査依頼のための電話のかけ方や手紙の書き方を事前指導し、子どもたちの手で調査依頼ができるようにする。 	アー② 【行動観察・シート】 イー②③ 【行動観察・発言】
5 7	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに調査の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと比べさせるため、質問に対する答えを予想させる。 バス路線表、時刻表などの資料を準備し、主体的に計画を立てられるようにする。 	ウー②④ 【行動観察・シート】
8	<ul style="list-style-type: none"> 生小応援団を迎えて、調査計画の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 経路、準備などで心配なことを応援団の方と一緒に確認することで、活動に安心感をもたせる。 	
9 13	<ul style="list-style-type: none"> 目的の場所を訪問し、調査・体験活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生小応援団の協力を仰ぎ、子どもたちと一緒に事前の調査計画を確認したり調査活動を行ったりする。 五感に着目して調査や体験活動で気付いたことをまとめられるようなシートを工夫する。 	アー① 【行動観察・シート】 イー②③ 【行動観察・発言】 ウー⑤ 【行動観察・シート】
14 16	<ul style="list-style-type: none"> 体験したことを五感ごとにカードに書き、整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験を想起させ、話合いを深める手段として子どもたちが撮影した写真を提示する。 「すてき」を五感で分けられるよう、付箋紙を使って仲間分けしていく。 	アー①② 【行動観察・シート】 イー④ 【行動観察・発言】 ウー④
17	<ul style="list-style-type: none"> お世話になった方を紹介するカードを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験を想起させ、体験先でお世話になった方の人柄や思いに着目できるようにする。 	【行動観察・シート】
18 本時	<ul style="list-style-type: none"> カードをもとに「すてき」紹介のキャッチコピーを話合いを通して決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 五感ごとに整理したカードやお世話になった方の紹介カードを基に、キャッチコピーを考えることができるようにする。 	イー⑤ 【シート】

19 く 20	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい「すてき」を効果的に伝えるにはという視点で報告の仕方について話し合わせる。 	<p>アー② 【行動観察・シート】</p>
21	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告会をし、よりよい発表にするために手直しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい「すてき」が効果的に伝わるかという視点で互いに感想を交換しながら聞き合うことができるようにする。 	<p>イー④⑤ 【シート・発表】</p>
22	<ul style="list-style-type: none"> ・オモテナシ3兄弟やお世話になった方々へ「すてき報告会」を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オモテナシ3兄弟から活動を称揚するメッセージをもらうとともに、次時以降の地域への発信活動へつながるメッセージももらう。 	<p>ウー③ 【行動観察・シート】</p>
23 く 25	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを地域へ発信する方法について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への掲示や保護者への紹介等、具体的な例を提示し、思考のヒントにする。 	<p>イー③ 【行動観察・シート】</p>
26 く 29	<ul style="list-style-type: none"> ・考えた方法で、調べたことを発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オモテナシ3兄弟や地域の公共施設の協力を仰ぎ、調べたことを発信することで、活動への達成感を味わうことができるようにする。 	<p>アー①② 【行動観察・シート】</p>
30	<ul style="list-style-type: none"> ・単元全体の活動を振り返り、自分たちが見つけた「すてき」を通して田沢湖地区のよさをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を振り返り、ふるさとの「すてき」に改めて目を向けさせる。 ・冬期間の田沢湖地区の魅力へも目を向けられるようなまとめをする。 	<p>イー⑤ 【行動観察・シート】</p> <p>ウー⑤⑥ 【行動観察・シート】</p>

7 本時の実際（18／30）

(1) ねらい

体験先で感じたことを基にしたキーワードを比較・検討する活動を通して、オモテナシ3兄弟へ伝えたい「すてきキャッチコピー」を考えることができる。

(2) 学習の実際

段階	学 習 活 動	予想される子どもの姿	形 態	○教師の支援 ●つまづいている子への手立て ☆評価（方法）【観点】
導 入	1 前時までの学習を振り返る。	・実際に体験してみて「すてき」がもっと分かったぞ。	全 体	○調査活動の様子を撮影した写真やまとめたカードを提示し、活動を想起させる。
	2 オモテナシ3兄弟からの手紙を読み、本時のめあてを確認する。	・オモテナシ3兄弟がおもてなしに使いやすいものを考えよう。		○オモテナシ3兄弟から手紙が届いたという場面を設定することで、本時の活動の見通しがもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> (めあて) オモテナシ3兄弟に伝える「すてきキャッチコピー」を考えよう。 </div>				
	3 活動の見通しをもつ。	・キャッチコピーだから長すぎちゃだめなんだな。 ・調べたことがうまく伝わるキャッチコピーにしよう。		○様々なキャッチコピーを掲示しておき、作成の際のヒントにできるようにする。 ●掲示資料を使い、視覚的に活動の見通しがもてるようにする。
展 開	4 カードを基に、「すてき」を表すキャッチコピーを考える。	・潟分校は、「古い」ものや「昔」を感じるものがあつたな。 ・温泉は、「気持ちいい」とか「ほっとする」とかがキーワードになるかな。 ・「心も体もほっとする鶴の湯温泉」とかはどうかかな？	グ ル ー プ ↓ 個	○五感ごとに整理したカードをもとに、体験先で感じたよさをいくつかのキーワードに絞ることができるようにする。 ○お世話になった人の「すてき」をまとめたカードもキーワードを探す際のヒントにする。 ●キーワードがなかなか出ない際は、キャッチコピーに使う語彙のヒントとして使えるよう、国語の教科書を拡大したものなどを掲示する。
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ①キーワードをいくつか出し合う。(グループ) ②キーワードを使って、理由とともに「すてきキャッチコピー」を考える。(個) ③グループで、みんなの思いを表現できるような「すてきキャッチコピー」を考える。(グループ) </div>			<div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ☆体験先で感じたことや友達の考えをもとに、「すてき」を表すキャッチコピーについて考えている。(シート) 【思考力・判断力・表現力等】 </div>
	5 グループごとに発表する。	・「大迫力がかっこいいイヌワシ」にしました。理由は、イヌワシのくちばしのすどさや大きさを表現できるからです。	全 体	○そのキャッチコピーにした理由もあわせて発表できるような話型を提示する。
ま と め	6 本時の振り返りをして次時への見通しをもつ。	・たくさんあつた「すてき」を表すキーワードを決めることができてよかった。 ・この言葉だとぼくの思いも○○さんの思いも表せられるな。	個	○次時以降への活動の意欲が高まるように、子どもたちのがんばりを称賛する。

m e m o

第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 千葉 徳子

1 単元名

ふるさとの今を見つめて
～発信しよう！ふるさとのよいところ～

2 単元の目標

自分たちが住む仙北市の魅力进行调查，体験をする活動を通して，地域のよさや人々の願いや努力に気づき，それらを表現，発信できるとともに，ふるさとに対する誇りと愛情を高め，地域を盛り上げようとする態度を育てる。

3 単元を展開するに当たって

(1) 子どもについて（男子22名・女子14名，計36名）

地域行事への参加意欲や知識には個人差があるが，学校での様々な活動に関心を持ち，張り切って取り組もうとする子どもたちである。素直に思いを話したり，関わろうとしたりする子どもが多い反面，自分の考えにこだわったり，互いの考えをよく理解できなかつたりする場合もある。総合的な学習の時間は，特別支援学級の子ども2名も支援を受けながら一緒に学習している。

3年生の「すてき発見 田沢湖」では，田沢湖地区の観光施設や地域に詳しい人を訪ね，よさに焦点を当て調べる活動をした。まとめの段階では，調査したことをパンフレット，図鑑，模型，案内地図など，子ども達がこれまでに経験したところのある表現方法を生かしてまとめることができた。また，伝える相手を田沢湖地区のご当地キャラクターであるオモテナシ3兄弟に絞ることで，発見した田沢湖のすてきについて表現方法を考えるなど工夫をし，伝えることもできた。

4年生になり，3年生の学習を通して得た知識と田沢湖地区への誇りを大事にしつつ，「ふるさと」と捉える地域を仙北市全体として調査活動の範囲を広げてきた。前単元では，昨年度発見した田沢湖の「すてき」に加え，角館，西木の「すてき」（名所，名物，祭り，食）について，ウエビングマップを使って調べることで知名度や観光資源の数に地域差があることに気付くことができた。さらに，田沢湖駅前周辺で仙北市への関心度について，観光客や土産屋の店員，駅員など観光客を相手にしている人へのインタビューを通じた調査活動を行った。その中で，観光客は観光地として知名度の高いところをめぐって訪れているという子どもたちが予想通りの結果だけでなく，同じ場所を季節ごとに訪れたり，自分たちが知らない場所を訪れたりしていたという予想外の結果や，「何もないところがいちばんいい」という意見もあり，これまで調べてきた内容とは全く正反対の結果にとっても驚いていた。そのような学習を通して，子どもたちは，資料での調べ学習をはじめ，フィールドワークで出会った人との対話を繰り返しながら，情報を得るための技能は育ってきており，昨年度の4年生の様子から，「自分たちもどこかに行って仙北市をPRしたい」という意欲もより高まってきている。ただ，ふるさとに対する関心はあるが，自分たちが地域を盛り上げていこうとする意識をもつまでには至っていない。

(2) 単元について

本単元では，観光地としての仙北市全体に誇りをもち始めてきた子どもたちの実態を基に前項で触れた子どもたちの思いや願いを生かし，自分たちで得た情報を他に伝えるPR活動をするということを全体で確認することからスタートしていく。ただ，これまで子どもたちは名所

や事柄を楽しむ側としての視点で仙北市を捉えてきたこともあり、五感を使って名所やものについて調べた昨年度とは異なった視点として、子どもの思いや願いを基に、自ら実際に出かけ、話を聞いたり、体験したりする場を設けることで、観光客を迎える側から感じる名所のよさを改めて感じ取ることができるだろう。そして、これまでの自分たちの知識の幅を広げ、客観的な視点から「すてき情報」を増やしていくことにつなげていくことができると思われる。さらに、3年生までの学習だけでは不十分だった「もの」や「こと」のよさに別の角度から気付いたり、仙北市に住み地域の歴史を守り、行事を支え、伝統を受け継ぐなどしてきた「ひと」との出会いを通して、それぞれの人たちの思いや願い、努力にも気付いたりすることができると思う。

このような学習を通して、PR活動ではパンフレットに書かれていないものをそれまでの経験を通して得られた言葉や態度となって表れた形で発信することができ、よりふるさとへの思いが高まっていくことが期待される。また、PR活動を通じた成果と課題を出し合うことで、相手の立場になって伝える内容や方法について考えることもできるだろう。そして、ふるさとへの思いを膨らませ、より詳しくふるさとを見つめ直すことができるとともに、今後の自分の生活にどのように生かしていくかを考えることによって、地域に貢献できる子どもを育てていくことができる单元であると考えている。

(3) 指導に当たって

【本校の総合的な学習の時間のテーマ】

「ふるさとのよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども」

【本校の総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「ひと・もの・こと」に関する横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を以下のおり育成することを目指す。

- (1) 地域の「ひと・もの・こと」に関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、豊かな自然や観光資源に恵まれた地域の特徴やよさが分かり、それらに対する様々な人々の思いや願いとともに、努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域の「ひと・もの・こと」の中から課題を見付け、その解決に向けて予想を立てたり、情報を集めたりして、それらを整理・分析する力を身に付けるとともに、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域の「ひと・もの・こと」との関わりを通して、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの思いや願いを生かしながら、ふるさと仙北市に対する誇りと愛情を高め、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

○ ふるさとのよさに気付かせるために

- ・前期に子どもが考えた3つの地区のキーワードを大切に調査活動を行ったり、自分の興味や関心を基に、実際に出かけ、話を聞いたり、体験したりする場を設けたりする。

○ ふるさとの発展に貢献する意欲や態度を育てるために

- ・地域で歴史を守ったり、行事を支えたり、伝統を受け継いだりしている「ひと」と関わる場を通して得られたことを発信したり、地域で観光に携わるゲストティーチャーの話や話を聞いたりすることで、自分たちもPRに役立っているという思いをもたせる。

○ 自分のよさに気付かせるために

- ・歴史や地元を大切にしてきた人の活動や思いを含めたふるさとのよさをPRする活動を

通したり、自分や友達の頑張りを振り返り、互いに認め合う場を大切にしたりすることで、自分も仙北市の一員であることに誇りをもたせる。

PR活動に必要な詳しい情報を収集する意欲をもたせるために、前単元の学習を通して見えてきた「角館は昔のまち、伝統のまち」「田沢湖は都会的、新しい」「西木は自然が豊か」という三つのキーワードを単元を通して適宜確認する場を設けていきたい。

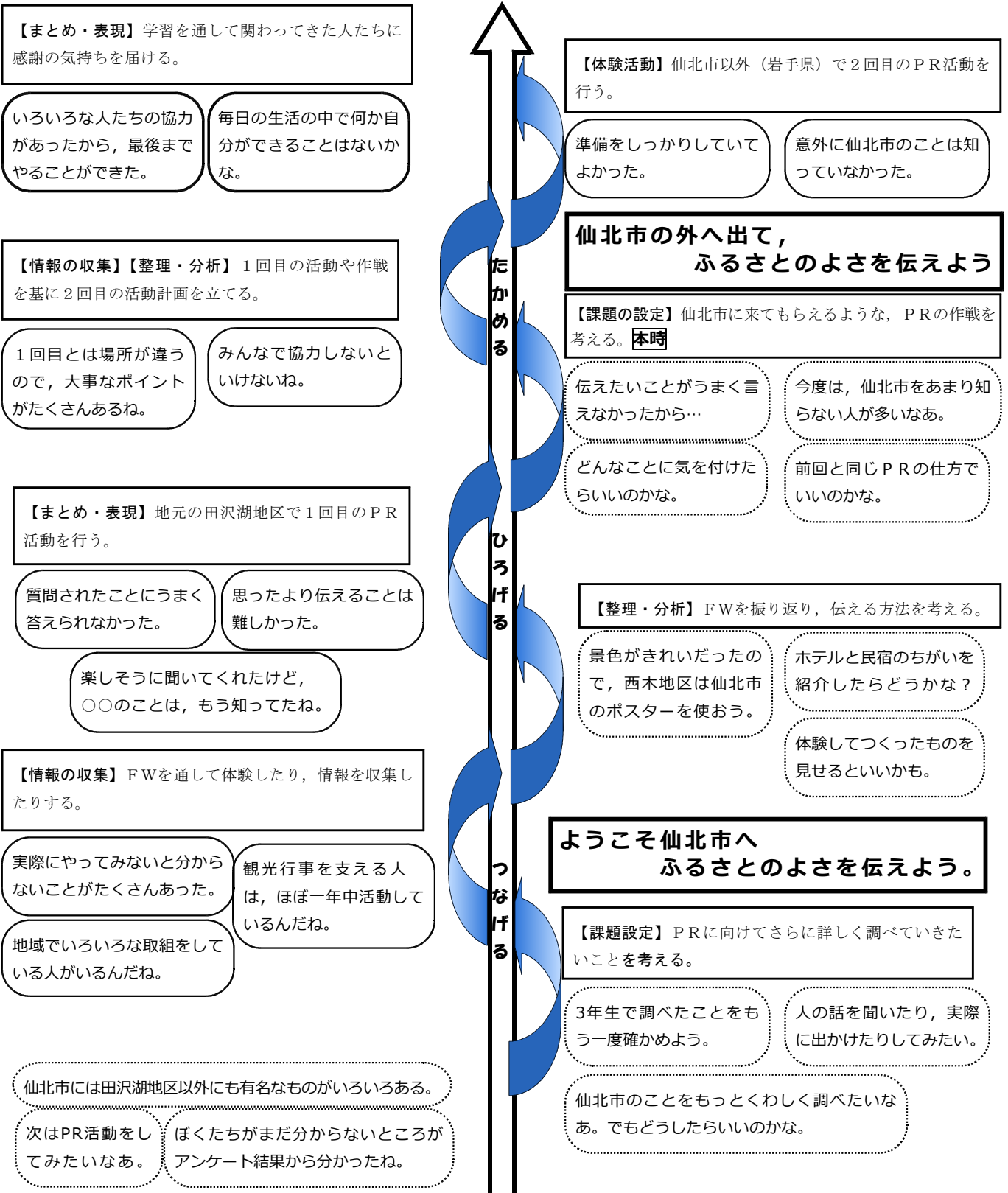
また、PR活動を2回行い、活動を通してよかった点や改善点を見付けることを通して、表現・発信する力を育てていきたい。そのため、PR活動の1回目は仙北市で観光客を相手に、2回目は本校が県境に近いという地理的な条件を生かし、岩手県内で通行人を相手に行うことにする。こうした場を設定することにより、PR活動の振り返りを次に生かしたり、場所によって異なる相手を意識した発信についてを考えたりするなどの、工夫したPR活動を展開していきたい。観光化されたパンフレットやインターネットで取り上げられているものは、すでに知名度が高いものであるのに対し、子どもたちが発見し、伝えようとするものは来訪者数の増加にすぐに結び付くとは限らないが、PR活動に携わる人の思いも聞き、一緒に活動する体験などを通して、観光客を迎える側としての見方や考え方を育てるとともに、よりふるさとへの思いを深めさせていきたい。

4 単元の評価規準

ア) 知識及び技能	イ) 思考力・判断力・表現力等	ウ) 学びに向かう力, 人間性等
<p>①他の地域との比較等を通して仙北市全体のよさや特徴に気づき、それらを支えている人々の努力や工夫、願いが分かっている。</p> <p>②情報を比較・分類するなど、探究の課題に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>①生活や体験を通して気付いたことや疑問に思ったことを基に、調べてみたいことを見出し、課題を設定している。</p> <p>②課題解決の方法を考え、学習計画を立てている。</p> <p>③対象や目的に合わせて進んで情報を収集したり、蓄積したりしている。</p> <p>④集めた情報を比較したり、分類したりするなどの整理を通して、特徴を見付けている。</p> <p>⑤分かったことや学んだこと、自分の思いや考えを、相手や目的に応じて、分かりやすくまとめたり、伝えたりしている。</p>	<p>①課題解決に向けて、体験や活動対象に素直に関わるなど意欲的に取り組んでいる。</p> <p>②相手の立場や気持ちを考えながら、他者と協力して課題を解決している。</p> <p>③自分や友達のよさに気づき、自分のものの見方や考え方に気付いている。</p> <p>④自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解している。</p> <p>⑤自分と地域とのつながりに気づき、地域のよさを大切にしようとしている。</p> <p>⑥自己の生き方を考え、夢や希望をもとうとしている。</p>

5 単元構想図

多くの人と関わりながら、ふるさとのよさを表現・発信する活動を通して自分も地域に貢献したことを実感している。また、地域活性化を願う人々の思いや活動を理解し、仙北市全体をふるさとと捉え、愛情と誇りをもって、今後、自分ができることを考えている。



仙北市全体のよさを大まかに理解してきているが、それを支える人々の思いまでは考えが及んでいない。また、PR活動を通して、よさを伝えたいという意欲が高まってきたが、具体的な活動や方法についてはまだ想像ができていない。

6 指導計画 (28時間)

時数	・主な学習活動	・教師の支援	評価規準 【評価方法】
1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を知り，課題を設定する。 ・課題追究のためフィールドワークを計画する。 ・中間発表会を行い，互いの班の動きを確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前単元のアンケート調査の分析等から明らかになった三つの地区のテーマを確認し，課題設定や学習計画につなげる。 ・仙北市全体へ調査を広げるため角館や西木地区にも出合いを広げられる計画にするように確認する。 	<p>ア－② 【発言・シート】 イー①②③ 【シート・発表】 ウ－③ 【シート・発言】</p>
6 9	<ul style="list-style-type: none"> ・調査計画シートを作成する。 ・自分たちの計画に従って調査活動を行い，観光パンフレットでは見つけられなかった「人の思い」や「取組」について情報を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなでPRすることの他に，自分たちのこだわりの魅力を調べることを確認する。 ・調査内容，質問事項など整合し，シートを作成させる。 ・取組の様子やふるさとへの思いや願いについて話してもらえよう見学先との打合せを行う。 	<p>イー③④ 【シート】 ウ－①⑤ 【行動観察・発言】</p>
10 13	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークで集めた情報をシートにまとめる。 ・活動内容を知り，見通しをもつ。 ・効果的なPR方法を話し合う。 例 ポスター・新聞掲載 試食コーナー・案内地図 ・PR活動の準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理しやすいようにまとめ用シートを準備する。 ・PR方法については，先輩たちのこれまでの取組を参考にしながら話し合わせる。 ・子どもの力では困難な場合は，地域の方々に協力を仰ぎ，できる範囲での取組にする。 	<p>ア－① 【シート・行動観察】 イー②④ 【シート】 ウ－② 【シート・行動観察・発言】</p>
14 17	<ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖地区で一回目のPR活動を行う。 ・PR活動の振り返りをして，よかった点や改善点を話し合い，まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでの調査結果を生かし，相手が知りたい情報や思いを聞きながら紹介できるよう声かけをする。 ・自分たちの伝え方と観光客の反応を合わせながら振り返る。 	<p>イー⑤ 【シート・発言】 ウ－① 【行動観察・シート】</p>

18 本時	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域で行うPR活動についての作戦を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 場所が変わることにより、伝え方が変わるところを確認する。 今まで協力してくださった観光の仕事に携わっている方々に見てもらい、アドバイスをもらう。 	<p>イー④ 【シート・発言】</p>
19	<ul style="list-style-type: none"> 一回目のPR活動の経験を生かし、活動計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に地域の方々と打ち合わせの時間を設け、活動の際に心がけることについて学ぶ。 	<p>イー② 【行動観察・シート】</p>
20 23	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域で（盛岡市を予定）でPR活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めての場所なので、約束を確認し、安全面に注意する。 全員が役割意識をもってPR活動ができるように、PR・アンケートなど仕事を明確にし交代で活動させる。 	<p>アー① 【発言・シート】 イー⑤ 【行動観察発言・シート】 ウー⑤ 【シート・発言】</p>
24 28	<ul style="list-style-type: none"> 相手の思いを聞きながら、ふるさとのよさを伝えることができたか振り返りをする。 単元を通して関わってきた人たちに感謝の気持ちを伝えるとともに、活動報告会を行う。 ふるさとに誇りをもち、さらによさを広げるために自分ができることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動中の様子を想起させ、仙北市に対する関心や意識はどうだったかを全体で確認する。 単元を通してお世話になった地元の方々と一緒に報告会を開き、活動の達成感と、ふるさとへの誇りを味わえるような振り返りの場を工夫する。 これまでの学習を生かし、児童会主催の被災地への義援金を送る活動の一つとして、4年生が学んだふるさと仙北市の紹介も加えることの提案につなげる。 	<p>アー① 【シート・発表】 イー⑤ 【シート・発表】 ウー④⑤⑥ 【シート・行動観察】</p>

7 本時の実際（18／28）

(1) ねらい

他地域で行うPR活動の内容や方法を視点を基に話し合う活動を通して、仙北市に來たいと思えるようなPR作戦を考えることができる。

(2) 学習の実際

段階	学習活動	予想される子どもの姿	形態	○教師の支援 ●つまづいている子への手立て ☆評価(方法)【観点】
導入	<p>1 1回目のPR活動の様子を思い出す。</p> <p>2 地域で観光に携わるゲストティーチャーの話を聞き、本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話しかける時、困った。 ・もう温泉のことを知っていた。 ・観光客が喜んでくれた。 ・岩手県の人にも僕たちの話を聞いてくれるかな。 	全体	<p>○学習の見通しがもてるよう、調査活動の様子や前時までのまとめを掲示しておく。</p> <p>○前回の活動を想起しやすいように1回目のPR活動の様子を動画で見る。 (1回目のPR活動のよかった点を褒めつつ、次回は県外での活動だということを確認する)</p> <p>○県外でPR活動を行った経験談に作戦の視点となるよう方法と内容の改善に関わるヒントを入れてもらう。</p>
(めあて) 仙北市に來てもらえるようなPRの作戦を考えよう。				
展開	<p>3 グループごとに作戦を考える。</p> <p>①地域の人の話を聞き、作戦の視点を確認する</p> <p>②PRに生かしたい自分の考えを書き、アイデアを出し合う。</p> <p>③出された作戦をグループで整理する。</p> <p>④グループで話し合い2回目のPR作戦を考える。</p> <p>4 グループごとに話し合っただけ決めたPR作戦を伝え合う。</p> <p>*発表後にはゲストティーチャーの意見や感想を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば興味をもってもらえるのだろう。 ・お土産で人気の漬け物の試食をPRに入れたい。 ・岩手県人は仙北市の何を知っているのかな。 ・自分が調べたご当地情報を伝えたい。 ・何か実物を見せよう。 ・どうすれば岩手県の人たちが立ち止まってくれるのかな。 ・まず田沢湖を伝えよう。 ・お囃子を流しながら祭りをPRしたい。 ・有名な角館の桜のPRに武家屋敷や樺細工を繋げればよい。 ・最初に歌って人を集めればよい。 ・栗の大きさは実物を見せて伝えよう。 	全↓ 個↓ グループ	<p>○話し合いを明確にするため、考えるときの視点を確認し、掲示する。 「岩手の人を引きつける作戦」 「仙北市に來てたんせ作戦」</p> <p>○前回の振り返りを生かすことも確認する。</p> <p>○自分の考えをもたせるために、まず全体で自由に考えを出し合う時間を設ける。</p> <p>○自分の考えを書く付箋を準備し、グループの考えを出し合いながら話せるよう台紙を準備する。</p> <p>●前回の振り返りや買い物などの生活体験から引き付ける作戦を考えていけるようヒントを出す。</p> <p>○作戦の内容としては、伝える「方法」と「内容」のどちらが出ても認める。</p> <p>○自分たちが考えた作戦を、いくつかの例や根拠を示しながら発表することを全体で確認する。</p> <p>○ゲストティーチャーには、作戦についての意見や感想とともに頑張りや認め次時以降の活動への意欲が高まるような話をしてもらうことを予め確認しておく。</p>
まとめ	<p>5 本時の振り返りをして次時への見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず人を引きつける作戦を成功させよう。次は聞いてくれる人が増えそう。 ・僕たちが自信をもって言えば、仙北市がいい所だ伝わるはずだ。 ・この作戦ならうまくPRができそう。 	個↓ 全体	<p>☆相手を意識し、視点に沿ったPR作戦の内容や方法を考え、シートに書いている。 (シート・発言) 【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>○次時は見つけた工夫を基にPRの仕方を改善していくことを確認する。</p>

m e m o

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 三浦 洋平

1 単元名

美しいふるさとを未来へ パートⅡ ～田沢湖のために、私たちにできること～

2 単元の目標

ふるさとの湖である「田沢湖」について調査や見学を行うことを通して、湖の環境と周辺に暮らす人々の生活とのつながりを知り、ふるさとの未来のために自分にできることを考え、行動を起こしていくことで、積極的に地域社会に参画していこうとする態度を育てる。

3 単元を展開するに当たって

(1) 子どもについて（男子15名・女子16名、計31名）

明るく活発な子どもたちである。物ことに対して前向きな姿勢の子どもが多く、男女分け隔てなく協力することができる。自分の意見を伝えようとする意欲も高くめあてに向かって夢中になって話し合ったり、調べたりすることができる子どもたちである。総合的な学習の時間は、特別支援学級の子ども1名も支援を受けながら一緒に取り組んでいる。

昨年度までの総合的な学習の時間では、ふるさと仙北市のよさを目を向けながら学習を積み重ねてきた。3・4年生では、身近な地域の魅力や自慢を見出す活動を行い、特産品を生かした商品の開発・販売等、仙北市のよさをPRする活動を通して、ふるさとへの愛着をより深めることができた。

5年生では「美しいふるさとを未来へ」をテーマに、地域の課題や問題点を通して自分たちにできることに気付き、行動していくことを目指して学習を進めている。パートⅠでは、駒ヶ岳の過去の噴火や、地域で起こった土砂災害について学んだ。いざという時のための備えがされていることを学び、地域の人や訪れる観光客に知らせることを今の自分たちにできる行動として選び、まとめた上で発信する活動を行った。自分たちにできることを考え、地域社会に関わっていこうとする意識が育ちつつある。また、子どもたちは、かつて玉川酸性水の影響により固有種であるクニマスが絶滅したことはよく知っている。現在は遊泳ができたりたくさんのウグイが泳いだりしているため、現在も続いている問題としての意識は弱い。また、これまでの地域住民の努力にも気付いていないことから、自分たちに何ができるかを考えたり、地域社会に関わっていこうとしたりする意識は十分とは言えない。

(2) 単元について

本単元では、玉川酸性水を田沢湖へ導入することの必要性や影響を知ることから学習をスタートさせる。田沢湖に導入された玉川酸性水によってクニマスが絶滅したことや湖岸が崩落していく原因となっていることを知ることで、子どもたちは環境保全の視点で田沢湖を見直す機会となる。一方で、田沢湖を天然のダムとして利用した水力発電や仙北平野の農業用水として利用される田沢疎水の存在から、田沢湖に酸性水を導入する必要性にも目を向けることで、簡単に解決できる問題ではないことを理解し、田沢湖が抱える課題や今後の姿について、より深く考えることが期待される単元である。

また、田沢湖の歴史や現状を調査する活動では、地域の人の田沢湖に対する思いや願い、これまでの努力などを直接聞き取ることで、子どもたち自身も自分の思いや願いを具体的な行動につなげることが可能な単元でもある。

(3) 指導に当たって

【本校の総合的な学習の時間のテーマ】

ふるさとのよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども

【本校の総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「ひと・もの・こと」に関する横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を以下のおり育成することを目指す。

- (1) 地域の「ひと・もの・こと」に関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、豊かな自然や観光資源に恵まれた地域の特徴やよさが分かり、それらに対する様々な人々の思いや願いとともに、努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域の「ひと・もの・こと」の中から課題を見付け、その解決に向けて予想を立てたり、情報を集めたりして、それらを整理・分析する力を身に付けるとともに、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域の「ひと・もの・こと」との関わりを通して、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの思いや願いを生かしながら、ふるさと仙北市に対する誇りと愛情を高め、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

○ ふるさとのよさに気付かせるために

- ・地域のいろいろな立場の人の声を直接聞き取る活動や、フィールドワークで直接自分の目で見て、肌で感じる活動を取り入れることで、ふるさとの湖に対する地域の人々のいろいろな思いや願い、これまでの努力などを実感できるようにする。

○ ふるさとの発展に貢献する意欲や態度を育てるために

- ・田沢湖の環境に対する地域の人々の思いや願い、これまでの努力を実感するとともに、高校生の取組を知ることで、自分の思いや願いをより具体的にもち、その実現のための方法を考え、実行できるようにする。

○ 自分のよさに気付かせるために

- ・自分の活動の記録をポートフォリオにまとめることで、目的意識をもって学びを積み重ねてきたことを実感できるようにする。
- ・ふるさとの湖のために自分たちにできる具体的な方法を行動に移し、反響や意見を得ることを通して、地域や人々の生活に役に立っていることを実感できるようにする。

本単元では、はじめに、玉川酸性水がどのようなものなのかについて触れ、玉川毒水とまで呼ばれる酸性水がなぜ導入されたか、また、なぜ現在も導入され続けているのかを考えるきっかけとする。その上で田沢湖畔やクニマス未来館のフィールドワークを行い、酸性水を入れる必要性や影響を比較しながら考えさせるようにする。子どもたちからは酸性水の導入を今すぐ止めるべきという意見が出されると予想されるが、導入の必要性についても考えることで簡単

な問題ではないことに気づき、「どうすればよいのか」という課題意識をより高めるようにさせたい。

その後、地域の人々は現在の田沢湖をどう思っているのか、どのようにしていきたいのかという思いや願いを聞き取る活動を行っていく。地域のいろいろな立場の人の意見を集めることで自分の思いや願いを整理し直し、それらをより強いものにしたたり、改めたりしていくことが期待される。

また、単元の後半では、それまでの学習で学んだ田沢湖の姿や地域の人々の声を根拠にしなが、自分たちの力で何ができるのかを語らせる。そうすることで、思いや願いを基にしなが考えた方法を実際の行動へ移していく力を身に付けていくことにつなげていきたい。そのために次の二点を指導の手立てとして学習を展開していく。一つ目は、酸性水の中和水を使ったメダカの飼育で数年前から交流している県立大曲農業高校科学部の出前授業を取り入れる。実際に自分たちにできることを行動に移している高校生の姿に触れ、意識を高めるきっかけにする。二つ目は自分が考えた方法を「今の自分にできること」「将来の自分にできること」「他の人の力を借りてできること」という三つの視点で分けて考えさせることで、子どもたちの手で、より具体的な方法を考え、実際の行動に移せるようにする。

このような学習過程を通して、子どもたちの田沢湖に対する誇りや愛着を、さらに高めていきたい。

4 単元の評価規準

ア) 知識及び技能	イ) 思考力・判断力・表現力等	ウ) 学びに向かう力、人間性等
<p>①地域の自然や環境の現状に気づき、自然や環境を守る人々の様々な努力や工夫、願いが分かっている。</p> <p>②情報を整理し、関連付けたり、多面的に考察したりするなど、探究の課題に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>①自分の興味や関心を基に、生活や体験を通して得られた気づきや疑問を対比したり選択したりしながら、課題を設定している。</p> <p>②方法や手順を考えるなど、課題解決の見通しをもち、活動計画を立てている。</p> <p>③対象や目的に合わせて調べる方法を選択し、情報を収集したり、蓄積したりしている。</p> <p>④集めた情報を整理し、関連付けたり、多面的に考察したりするなど、分析を通して、解決方法を見出している。</p> <p>⑤分かったことや学んだこと、自分の思いや考えを、相手や目的に応じて効果的に表現する方法を選び、分かりやすくまとめたり、伝えたりしている。</p>	<p>①課題解決に向けて、体験や活動対象に主体的に関わるなど、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>②異なる意見や他者を受け入れながら、他者と協力して課題を解決している。</p> <p>③自分や友達のよさや違いに気づき、自分のものの見方や考え方を深めている。</p> <p>④自分と異なる意見や考えを大切にするなど、相手の立場を理解している。</p> <p>⑤自分と地域の関わりを基に地域の問題を解決するなど、地域に対する愛着を深めている。</p>

5 単元構想図

ふるさとの自慢である「田沢湖」について、その魅力を詳しく知り、多くの人に発信したいと思っている。また、人々の豊かな生活のために湖の環境を壊してしまった経緯や、その再生のために多くの人々が努力していることを学び、ふるさとへの思いや願いをもち、自分たちにできることを考え、実際に行動しようとしている。

【まとめ・表現】田沢湖の環境のために、自分たちにもできることを実際に行い、行動していくことの大切さに気付く。

田沢湖の環境を守っていくのも、よくしていくのも自分たちだ。

いろいろな人たちと力を合わせ、これからもできることをしていこう。

【情報の収集】大曲農業高校科学部の出前授業を通して、自分にできることを実際に行動に移している人の話を聞く。

【まとめ・表現】地域の人々の考えや思いを基に、自分の考えをまとめ、次の課題につなげる。

田沢湖にはこんなに「すてき」があるんだな。

地域の人々も田沢湖を大切に思っている。

【情報の収集】
 ・クニマスや田沢湖の環境についての活動をしている地域の人々の話を聞く。
 ・地域のいろいろな立場の人の考えや思いをアンケート調査等で集める。

【まとめ・表現】人間の豊かな生活のために環境を壊していることに気づき、次の学習課題を立てる。

生活はよくなったが湖の環境は壊された。

酸性水の導入をやめると困る人もいる。

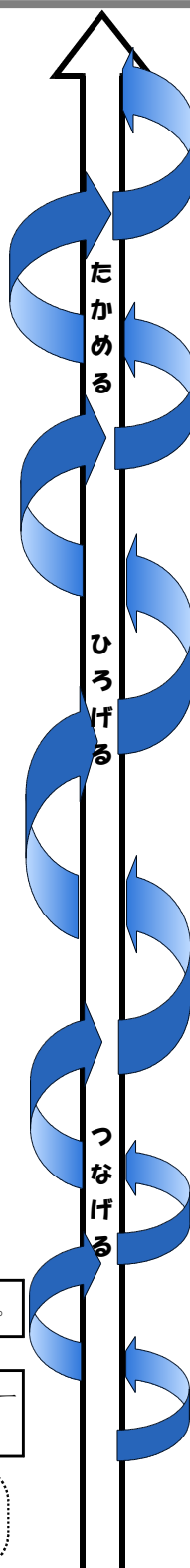
【情報収集】田沢湖畔やクニマス未来館へのFWを行う。

【オリエンテーション】パートIでの活動を振り返り、パートIIの活動への見通しをもつ。

田沢湖は魅力的なところがいっぱいある。

田沢湖に魚がいらないのは酸性水のせいなんだよね。

田沢湖は、子どもたちにとっても自慢の湖であり、その魅力についても知っていることは多い。一方で、田沢湖の現状や課題、これまでの地域住民の関わり等については知らないことも多く、自ら積極的に関わろうとする意識は低い。



【整理・分析】自分や地域の人々の田沢湖への思いや願いを実現させるための、自分たちにできる具体的な方法を出し合い、整理・分析する。**本時**

田沢湖のために「自分にできること」を考えよう。

【課題の設定】自分や地域の人々の思いや願いを実現させるためには、どんなことが必要か考える。

田沢湖はこれからも美しい湖であってほしい。

自分たちや地域の人々の願いを実現させたい。

【整理・分析】集めた考えや思いを整理する。

地域の人々の田沢湖への考え・思いを知ろう。

【課題の設定】これからの田沢湖について考えるために、地域の人々の考えや思い、これまでの努力を知る。

湖の環境について地域の人たちはどう思っているのかな。

地域の人たちのこれまでの努力や現在の取組の取組はどうなのだろうか。

【整理・分析】玉川酸性水の田沢湖への影響について、調べたことを整理・分析する。

田沢湖に玉川酸性水を入れる必要性和影響を知ろう。

【課題設定】玉川酸性水について調べ、田沢湖に導入する必要性や影響を考える。

何か酸性水を入れる理由があったのではないかな。

魚がいなくなることは分らなかったのかな。

6 指導計画（22時間）

時数	・主な学習活動	・教師の支援	評価規準 【評価方法】
1	<ul style="list-style-type: none"> ・パートⅠでの活動を振り返る。 ・パートⅡでは、田沢湖の環境について取り上げることを知り、活動への見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖についての知識を挙げさせ、知っている部分から課題や問題点に視点を移していくことで、課題についてより深く考えられるようにする。 	アー① 【発言・シート】
2	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川酸性水について調べる。 ・酸性水を田沢湖に導入することの意味や影響を考える。 ・課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川酸性水がどのようなものかを理解することで、大きな問題であることとして捉えられるようにする。 	アー① 【発言・シート】 イー① 【発言・シート】
3 5	<ul style="list-style-type: none"> ・クニマス未来館で館長さんのお話を聞く。 ・御座の石神社で、湖岸の崩落の様子を観察する。 ・田沢湖発電所で、玉川の水が田沢湖へ導入されている様子を観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来館の館長さんのお話や見学したことを通して、人間の豊かな生活のために、環境を壊していることを実感させる。 	イー③ 【見学の記録】 ウー① 【行動観察】
6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖に玉川酸性水を導入する必要性や影響を整理し、自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖の環境を壊している玉川酸性水について、導入の必要性について理解させ、より深い考えをもつことができるようにする。 ・自分の考えをもたせ、次の課題へつなげていく。 	アー② 【シート】 ウー③ 【発言・シート】
8	<ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖の環境について、今の時点での自分の思いや願いを出し合う。 ・地域の人々はどのような思いや願いをもっているのかを考え、課題設定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖に玉川酸性水を導入する必要性や影響を知った上で、地域の人々の思いや願いを集めることで、これからの田沢湖について考えていけるようにする。 	イー② 【発言・シート】
9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・クニマスの再生や田沢湖の環境のために活動している地域の方を招き、田沢湖への思い・願いについて話を聞く。 ・地域の人々が田沢湖の環境について、どんな思いや願いをもっているのか調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーを招き、地域の人々の思いに直接触れることで、活動への強い思いをもてるようにする。 ・話を直接聞くことが難しい人にはアンケート調査を行うことで、広く意見を集められるようにする。 	イー③ 【シート・行動】 ウー② 【発言・シート】
11 13	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報から、地域の人々の思いや願いを整理する。 ・地域の人々の思いや願いを基に、自分の考えや立場をはっきりさせ、次の課題へつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の思いや願いを整理していくことで、自分の考えをもつことができるようにする。 	イー④ 【発言・シート】 ウー④ 【発言・シート】

14	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの田沢湖について、どうしていききたいか、自分の考えを出し合う。 ・自分たちで何かできないかを考えていくことを確認し、課題設定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学してきたことや、話を聞いたことを根拠にすることで、自分の思いを具体的に話せるようにする。 	イー② 【発言・シート】 ウー③ 【発言・シート】
15 ・ 16	<ul style="list-style-type: none"> ・大曲農業高校科学部の出前授業を受け、どのような取り組みをしているかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の活動への思いを知ることで、自分にできることを見付け、行動をしていくことの意味を理解できるようにする。 	アー① 【発言・メモ】
17 ・ 18 本時 ⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業や今までの活動を基に、自分にどんなことができるかを考える。 ・自分や地域の人々の田沢湖への思いや願いを実現させるために、自分たちにできる具体的な方法を出し合い、整理・分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にできることを行動に移している高校生の姿から、自分にできることを見付ける活動につなげる。 ・出された意見を「今の自分にできること」、「将来の自分にできること」、「人の力を借りることのできること」の3つの視点で分類しすることで、より具体的な方法を考えられるようにする。 	ウー③ 【発言・シート】 イー④ 【発言・シート】
19 く 22	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの田沢湖に対する思いや願いが実現できるような手立てを実際に行動に移す。 ・地域からの反応を受けて、自分の取組を振り返り、これまでの活動のまとめにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発信や提案等、各自の活動内容ごとに進めていく。 ・子どもたちの活動に、地域の人々の感想や意見をもらえるようにし、取組のまとめにつなげる。 	イー⑤ 【まとめ・発表】 ウー⑤ 【まとめ・発表】

7 本時の実際（18／22）

（1）ねらい

田沢湖の環境のために自分たちができることについて、思いや願いを実現する具体的な方法を考える活動を通して、集めた情報を整理・分析をしながら課題解決の方法を見出すことができる。

（2）学習の実際

段階	学習活動	予想される子どもの姿	形態	○教師の支援 ●つまずいている子への手立て ☆評価（方法）【観点】
導入	1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> クニマスが泳ぐ湖。 鳴き砂の再生。 酸性の水が中和される。 湖岸の崩落がこれ以上進まない。 	全体	<p>○前時で出し合った田沢湖への思いや願いを確認し、本時の内容につなげるようにする。</p>
（めあて） 自分たちの思いや願いを実現するにはどうすればよいかを考えよう。				
展開	<p>2 自分の思いや願いを実現するため、実際にどんな行動ができるか、考えを出し合う。</p> <p>3 出し合った方法を、「今の自分にできること」「将来の自分にできること」「力を借りること」に分類・整理する。</p> <p>4 これから自分を取り組んでいきたい方法を選択する。</p>	<p>今の自分にできること</p> <ul style="list-style-type: none"> 水質について勉強する。 湖畔のクリーンアップ 水を大切に生活する。 ごみを減らす。 田沢湖の現状を知ってもらう。 キャンペーンを行う。 <p>将来の自分にできること</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生になって研究に参加する。 地元に残り、田沢湖の環境に関わる仕事に就く。 <p>力を借りること</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生の中和法の実用化 中和処理施設の強化。 市や議会に提言する。 	<p>グループ・全体</p> <p>全体</p> <p>個</p>	<p>○考えが似ている子どもたち同士で話し合うことで、焦点化して考えられるようにする。</p> <p>○自分が表現する具体的な方法を決定するために、思考ツールを基にして考える。</p> <p>○出された考えをより具体的な方法にしていくことができるようにするため、意見を3つの視点で分類・整理させる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">☆自分の思い・願いを実現させる具体的な方法を出し合い、整理・分析している。（発表・シート） 【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>○実際に行動を起こすことを念頭に置くことで、今実現できる具体的な方法を選択できるようにする。</p> <p>●自分が取り組む方法を選べない場合は、自分の思いや願いに立ち返って選べるようにする。</p>
まとめ	5 振り返りをして、次時の活動の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 実際に行動する計画を立てよう。 市への提案書を書こう。 	全	○次時では、実行に移すためにはどうしたらよいのかなどを考えることを確認する。

m e m o

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 T f 藤原 薫
T y 山部 幸信

1 単元名

ふるさと再発見 パートⅡ ～ふるさとの発展を目指して～

2 単元の目標

ふるさと（秋田県・仙北市）について、これまで獲得した学びを見直し新たな視点で調査し、得られた結果を基に考察したり討論したりする活動を通して、多様な視点でふるさとの現状を捉え、見通しをもって課題解決に取り組む力を身に付けるとともに、ふるさとに対する考えを見つめ直し、発展を目指して積極的に地域に関わろうとする態度を育てる。

3 単元を展開するに当たって

(1) 子どもについて（男子21名・女子26名、計47名）

総合的な学習の時間は特別支援学級の子どもの1名も支援を受けながら一緒に取り組んでいる。これまで子どもたちは、総合的な学習の時間のテーマ「ふるさとのよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども」の下、3年生からふるさと仙北市についての学びを積み重ねてきた。その中で、学年全体で活動する意義を理解し、協力して学びを深めていこうという意識が高まってきている。

3年生では、田沢湖でのフィールドワークを通して身近な地域のよさを発見した。4年生では、地域のよさを広く発信しようと、秋田市で宣伝活動を行うことで、地域の発展に寄与する喜びを感じ取ることができた。5年生では、社会科「わたしたちの生活と食料生産」と関連させながら、地域農家の工夫や努力について調査した。米作り体験を行うことで収穫の喜びを実感することができた上、地域の農業問題にも気付き、ふるさとの抱える課題へ意識が向くきっかけとなった。「わたしたちの山 駒ヶ岳」では地域の自然災害について課題をもち、秋田駒ヶ岳砂防探検隊への参加を通して防災の在り方を追究した。

6年生では、学年テーマを「ふるさと再発見」とし、パートⅠでは、「仙台市のまちづくりから学び、ふるさとの発展に生かそう」という課題をもって修学旅行を実施した。旅行後に、仙台市と仙北市の共通点や相違点等を視点として報告書づくりを行った。また、国語科の学習と関連させながら、「仙北市で暮らす方が仙台市で暮らすより幸せか」を論点として討論会を行った。子どもたちはこれらの活動を通して、「もう知っている」と捉えていた地域には、まだまだ知らないことが多くあることに気付いた。また、「生まれ育ったところだから好き」と漠然と捉えていた地域だが、人口減少や高度な教育機関、商業施設等の不足といった地域の課題に向き合うことで、子どもたちはこれまで自分がもっていた「地域に対する誇りや愛着」といった意識を改めて見つめ直すことになった。

こうした学びを通して、課題をする設定力や課題を探究する力、表現力といった力は高まりつつあるが、集めた情報を整理・分析する力には課題がある。また、ふるさとの発展を目指して活動していこうという意識は高まってきているが、実践となると、地域の活性化につながる有効なアプローチの仕方を見出すことができずにいる。そのため、子どもたちのアイディアはこれまで行ってきた広報活動の焼き直しにとどまっている。

(2) 単元について

本単元は、「ふるさと再発見パートⅠ」で設定した学年共通課題「ふるさとを様々な視点で見直し、発展を目指して自分たちができることに取り組んでいこう」について追究し実現していく場となる。「ふるさとを見直す活動」では、視点・課題の役割と設定の仕方を改めて学んでいく。ここで子どもたちは、「視点とそれを基にした自分の課題は、結果の予想を立て、さらに得られた結果をその後の課題追究や表現活動にどのように生かしていくかまでを考えて設定する必要がある」ということに気付いていく。適切な視点を定め、見通しをもって追究を行うことで、子どもたち

は必要な情報を選択・整理・分析することが容易になり、その力を高めていくことができるようになる。「発展を目指した取組」では、子どもたちは、調査活動をする中で様々な情報に触れ、これまで行ってきたPR活動以外にも地域活性化の方策があることに気付いていく。そして、新たな発信方法にチャレンジすることで表現する力を高めていく。このように、本単元は、前学年まで積み重ねてきた「ふるさとについての理解」と「発展を目指して関わろうとする意欲」をスパイラルに高めていく時間となる。子どもたちは、本単元で身に付けた学びのサイクルを活用して、次の単元「自分再発見」に取り組んでいくことになる。

(3) 指導に当たって

【本校の総合的な学習の時間のテーマ】

「ふるさとのよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども」

【本校の総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「ひと・もの・こと」に関する横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を以下のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域の「ひと・もの・こと」に関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、豊かな自然や観光資源に恵まれた地域の特徴やよさが分かり、それらに対する様々な人々の思いや願いとともに、努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域の「ひと・もの・こと」の中から課題を見付け、その解決に向けて予想を立てたり、情報を集めたりして、それらを整理・分析する力を身に付けるとともに、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域の「ひと・もの・こと」との関わりを通して、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの思いや願いを生かしながら、ふるさと仙北市に対する誇りと愛情を高め、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

○ ふるさとのよさに気付かせるために

- ・保護者や地域住民と話し合ったり、アンケート調査を実施したりする機会を設定することで、新たな課題や、解決に向けた方策を見出すことができるようにする。
- ・統計資料や新聞記事等を効果的に提示することで、ふるさとを様々な視点で見つめることができるようにする。

○ ふるさとの発展に貢献する意欲や態度を育てるために

- ・企画書のつくり方や盛り込む内容について段階を踏みながら学習を進めることで、「一泊二日の旅企画」に地域のよさを反映させていくことができるようにする。

○ 自分のよさに気付かせるために

- ・書く活動を効果的に取り入れ、学びの足跡を蓄積していくことで、考えの深まりや成長を自分自身で確かめることができるようにする。

単元の構成としては、はじめに保護者とともに地域の強みと弱みを確かめる活動を行うことで、地域にはまだ知らないことが多くあることに気付かせ、「より広く深く地域のことを知りたい」という意識を高めていく。調査活動は夏季休業中に設定し、個々の課題追究が円滑に行われるよう、計画づくりへの支援や保護者への働きかけを適切に行っていく。休業明けに調査報告会を実施するが、終盤に「郷土愛ランキング」といった地域に関する統計資料を提示する。子どもたちは、「秋田県民はふるさとに対する愛着度や自慢度が他県より低い」という結果を知ることで、「なぜこのように低いのだろう」と疑問をもつであろう。そこで、新たな課題設定を行うが、追究が秋田県の欠点探しにとどまることのないように、「ふるさとの発展のためにがんばっている人はいないか」といったこれまで示してこなかった視点を提示していく。多様な視点でふるさとを見つめることで、子どもたちは「秋田県は、他県や海外の人たちから魅力ある県であると高く評価されている」といった地域の新たな面に気付いていく。こうした活動を通して、子どもたちは地域への理解を

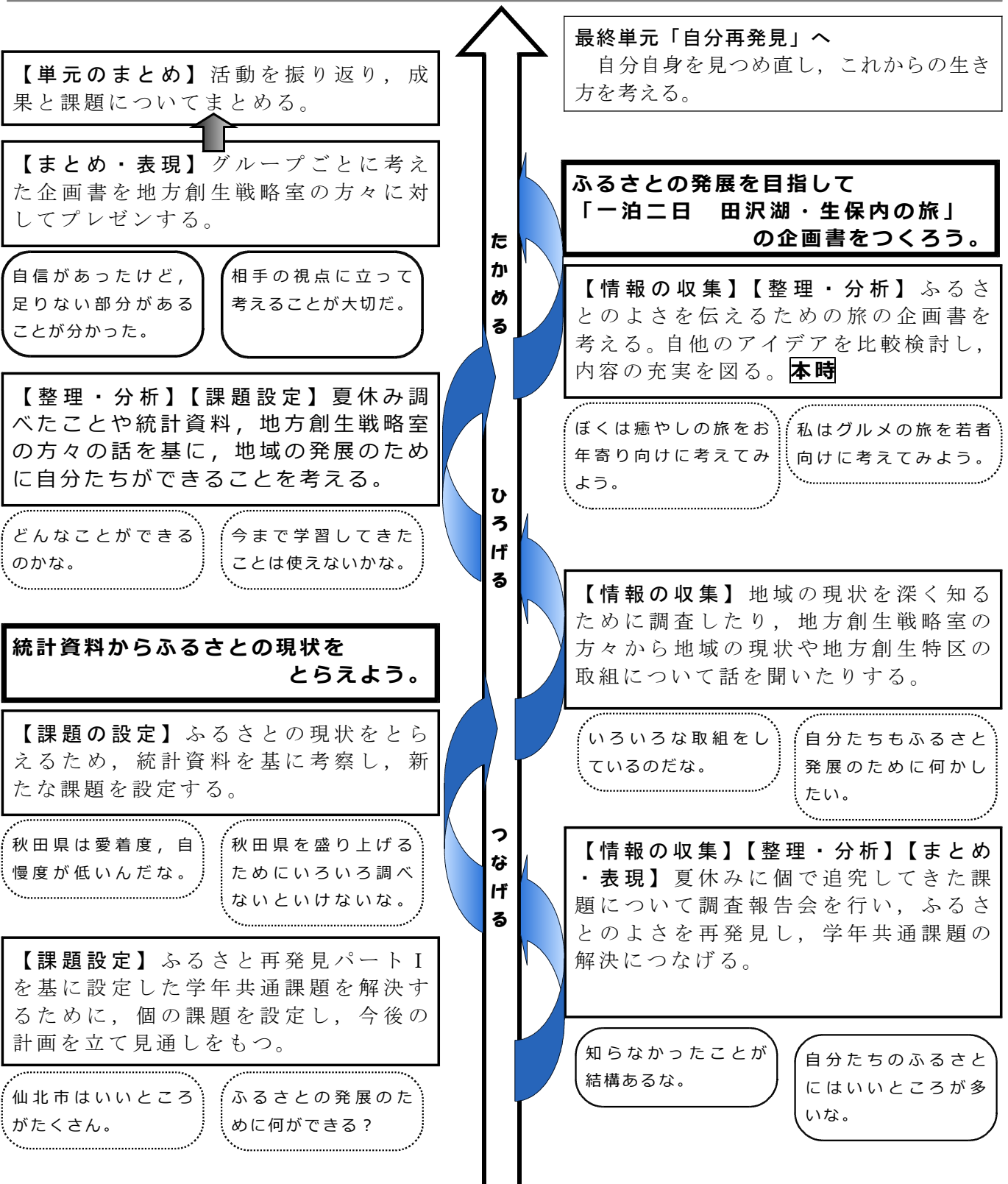
深め、地域を構成している住民の一人であるという自覚を強くすることであろう。その上で、改めて地域の発展のためにできることを考えていく。内容としては、ふるさと再発見パートⅠで修学旅行を通して課題づくりを進めた経緯をもとに、パートⅡでは、共通実践として「ふるさとの魅力を伝える一泊二日の旅企画」といった形で発信を行っていく。そのための構想を練る時間となる本時では、個々に作成した企画書を持ち寄り、比較検討する活動を行う。「自分たちがこれまで見付けたり体験したりしてきた地域のよさを多くの人たちに知ってほしい。」という願いをもって表現活動を工夫することで、子どもたちは地域に対する誇りや愛着をさらに深めていくことであろう。

4 単元の評価規準

ア) 知識及び技能	イ) 思考力・判断力・表現力等	ウ) 学びに向かう力、人間性等
<p>①地域が抱える諸問題に気付き、解決に向けて取り組む人々の努力や工夫、願いが分かっている。</p> <p>②情報を整理し、関連付けたり、多面的に考察したりするなど、探究の課題に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>①地域の実態を様々な視点から捉え、調査活動等を通して得られた気付きや疑問を基にして課題を設定している。</p> <p>②方法や手順を考えるなど、課題解決の見通しをもち、活動計画を立てている。</p> <p>③対象や目的に合わせて調べる方法を選択し、情報を収集したり蓄積したりしている。</p> <p>④集めた情報を整理し、関連付けたり、多面的に考察したりするなど分析を通して、地域の現状を掘り下げ、地域活性の方策を見付けている。</p> <p>⑤分かったことや学んだこと、自分の思いや考えを、相手や目的に応じて効果的に表現する方法を選び、分かりやすくまとめたり、伝えたりしている。</p>	<p>①課題解決に向けて、体験や活動対象に主体的に関わるなど意欲的に取り組んでいる。</p> <p>②異なる意見や他者を受け入れながら、他者と協力して課題を解決している。</p> <p>③自分や友達のよさや違いに気付き、自分のものの見方や考え方を深めている。</p> <p>④自分と異なる意見や考えを大切にするなど、相手の立場を理解している。</p> <p>⑤自分と地域の関わりを基に地域の問題を解決し、地域を誇りに思う気持ちを深めている。</p>

5 単元構想図

自分の住む地域（仙北市）についてこれまで調べてきたことを見直す活動を通して、課題を解決するための知識や技能を身に付けるとともに、ふるさとに対する考えを見つめ直し、地域の発展を目指して、積極的に地域に関わろうとしている。



パート I の活動で仙北市のよさや問題点について気づきが深まっているが、ふるさとには魅力があるとは言えないという思いももつようになった。また、ふるさとの発展を目指していこうという意識は高まってきているが、地域の活性化につながる有効な実践方法を見出すことができずにいる。

6 指導計画 (35時間)

時数	・主な学習活動	・教師の支援	評価規準 【評価方法】
1 ・ 2	・ふるさと再発見パートⅠで設定した学年共通課題「ふるさとを様々な視点で見直し、発展を目指して自分たちができることに取り組んでいこう」を確認し、自分の課題を設定する。	・地域に対する理解度を確認するために、イメージマップを用いて、保護者と一緒に「地域の強みと弱み」を洗い出す活動を行う。	ア－① 【シート】 イー① 【行動観察 ・シート・ 発言】
3 ・ 4	・自分の課題解決に向けて見通しをもつ。	・見通しをもって課題解決に取り組むことができるように、計画表を準備しアドバイスをを行う。	イー② 【計画書・ 発言】
* 夏 季 休 業 中	*自分の課題解決を目指して、調査活動を行う。	・調査地への移動や写真記録等、児童だけでは対応が難しい内容について保護者の協力が得られるよう事前に依頼する。	
5 ・ 6	・調査報告会を行う。	・友達の調査内容のよさに気付くことができるように、見取るための視点を提示する。	ア－② イー③ 【シート】 ウ－③⑤ 【発言・シ ート】
7	・ふるさとについての統計資料を基に考察し、新たな課題を設定する。	・統計資料「都道府県郷土愛ラ ンキング（ブランド総合研究 所）」を提示する。 ・児童の考察を整理しながら、ふるさとの現状を捉えるための視点を引き出し、個の課題へとつなげていく。	イー① 【シート ・発言】
8 ・ 13	・地域の現状について、インターネットを使ったり地域の方にインタビューしたりしながら調査する。	・課題追究の中間発表会を行い、自分の課題が、今後の「ふるさとの発展を目指した取組」につながるものになっているか確認させ、必要に応じて軌道修正を促す。 ・地域の現状や地方創生特区の	ア－①② 【シート】 イー②③④ 【シート】 ウ－① 【行動観察 ・発言】

		取組について知ることができるよう、ゲストティーチャーを依頼する。	
14 17	・地域の発展のために自分たちが く できることを考え、共通実践内 容（ふるさとの魅力を伝える一 泊二日の旅企画）を設定する。	・これまでの調査結果について 話し合うことで、ふるさとの よさを発信する必要感と相手 意識を明確にする。	アー① 【シート】 イー④ 【発言・シ ート】
18 23 本 時 ⑳	・企画書のつくり方を知る。 く ・企画を立てるために必要な情報 収集を行う。 ・個々に旅の企画書をつくる。 ・グループをつくって意見交換を 行い、内容の充実を図る。	・計画を立てる際に必要となる 情報の充実を図るために、ア ンケート調査やインタビュー 活動の内容を工夫する。 ・旅のコンセプトや地域のよさ を生かした行程を明確にする ことができるように、企画書 の構成を工夫する。	イー②③④ ⑤ 【企画書・ 発言】 ウー②④ 【行動観察 ・発言】
24 29	・地方創世戦略室の方々に提示す く るプレゼンテーションの仕方を 考え準備をする。 ・プレゼンテーションムービーを 撮影し、上映会を行う。	・仙北市役所地方創世戦略室の 職員との打ち合わせを丁寧 に行い、学習に効果的に関わっ てもらうことができるように する。	イー⑤ 【プレゼン テーショ ン】 ウー①②④ 【行動観察 ・発言】
30 31	・これまでの学習を通して、気付 いたことや分かったことなどを まとめる。	・成果と課題を見つめ直すこと ができるように、実践して感 じたこと考えたことを全体で 共有化する。	アー① 【シート】 イー⑤ 【シート】 ウー③ 【発言】
32 35	・地域の発展を目指してこれから く どうするか考え、実践する。	・活動の成果と課題を生かすた めに、今後の展望を話し合わ せる。 ・3月に開催されるモーグルワ ールドカップに向けての活動 を考える。	イー① 【シート】 ウー⑤ 【行動観察 ・発言・シ ート】

7 本時の実際 (23/35)

(1) ねらい

企画のコンセプトと関連付けながら自他のアイデアを比較検討することで、ふるさとのよさが生かされたよりよい企画内容を考えることができる。

(2) 学習の実際

段階	学 習 活 動	予想される子どもの姿	形態	○教師の支援 ●つまづいている子への手立て ☆評価 (方法) 【観点】
導入	1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	・地域のよさが伝わる旅の企画書をつくらう。	全体	○学習の見通しをもつことができるように、これまでの流れが確認できる場を常設する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (めあて) ふるさとの発展を目指して ～田沢湖・生保内のよさが伝わる旅の企画書をつくらう～ </div>				
展開	2 グループごとに地方創生戦略室に提案する企画書作成を行う。 *予想される企画書グループ ①美しく健康になる旅 ②自然の中で運動する旅 ③クニマス発見の旅 ④田沢湖の魅力発見の旅 ⑤農業体験の旅 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [企画書項目] ○企画の対象 (どのようなニーズに応えるか) ○ニーズに対応する田沢湖・生保内のよさ ○旅のキャッチコピー ○旅を通して、田沢湖・生保内に対してどのような思いをもってもらうか。 ※条件 ・1泊2日 田沢湖・生保内の旅 </div>	・県外の人たちに、田沢湖・生保内ファンになってもらうことができるように、グループで協力していい企画をつくっていきこう。 ・健康になりたい人に、温泉の効能を知らせよう。食事もポイントだな。 ・田沢湖マラソンやカヌーも紹介したいな。 ・クニマスを復活させる努力を知るためには、玉川ダムも行程に入れた方がいいね。 ・たつ子伝説をどうやって知らせようかな。 ・都会に暮らす人たちにとっては、田植えや稲刈りもイベントになると思うよ。	グループ	○「県外の人達が、田沢湖・生保内の旅に求めること」を企画づくりのコンセプトとし、それを基にグループを構成する。 ○コンセプトを確かにして考えを進めていくことができるように、企画書シートの構成を工夫する。 ○T f・T yで分担してグループの活動状況を見取り、話し合いが活発に行われるように助言する。 ●話合いの流れがつかめず発言が滞りがちな際に、進行状況を捉え自分の考えを表現することができるように助言する。 ○内容に共通点が多いグループは、全体で一つの企画をつくっていくが、コンセプトが多様な場合は無理にまとめず、互いの企画にアドバイスを送り合うこととする。
	3 旅行者の視点で他のグループの企画を見合い、内容の充実を目指してアドバイスを送り合う。 4 アドバイスを基にして、グループの企画を見直し、修正を行う。	・ふるさとのよさが伝わる旅になるように、アドバイスしよう。 ・教えてもらったことをどのように入れていったらいいかな。	全体 グループ	○「旅行者のニーズに応える企画になっているか」「自分たちが見つけた地域のよさが生かされているか」をアドバイスの視点とする。 ○他のグループからのアドバイスは、旅の行程の中にオプションとして生かすことができることを知らせる。
まとめ	5 本時の振り返りをして次時への見通しをもつ。	・自分たちの考えを戦略室の方々に興味をもって聞いてもらうことができるように、発表の仕方を工夫していこう。	全体	○活動の意欲が高まるように、子どもたちのアイデアを称賛する。 ○次時は、企画書をもとに、プレゼンテーションの準備に取りかかることを確認する。

m e m o

資料集

目次

□生活科・総合的な学習の時間 各学年年間指導計画

1年・2年 生活科	1
3年 総合的な学習の時間	2
4年 総合的な学習の時間	3
5年 総合的な学習の時間	4
6年 総合的な学習の時間	5

□カリキュラムデザイン（生活科・総合的な学習の時間との関連ver.）

1年	6
2年	7
3年	8
4年	9
5年	10
6年	11

□総合的な学習の時間全体計画

□生活科・総合的な学習の時間学習関連系統表

□スタートカリキュラム

スタートカリキュラム全体計画	14
カリキュラムデザイン	15
第一週目の週案（計画段階のもの）	16
第一週目の週案（実施後のもの）	17

実際は、A3サイズやカラーで作成されているものがあり、多少見にくくなってしまっている場合はご容赦願います。

平成30年度 生活科年間指導計画 生保内小学校

月	4	5	6	7	8・9	10	11	12	1	2	3		
1年生	<p>がっこう だいすき パート1⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなががっこうをあるこう こまごまをあるこう こまごまががっこうをあるこう こまごまががっこうをあるこう こまごまががっこうをあるこう こまごまががっこうをあるこう 	<p>がっこう だいすき パート2⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> こまごまをあるこう こまごまをあるこう こまごまをあるこう こまごまをあるこう こまごまをあるこう こまごまをあるこう 	<p>なつだ あそぼう⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなのこまごまをあるこう こまごまをあるこう こまごまをあるこう こまごまをあるこう こまごまをあるこう こまごまをあるこう 	<p>いきものたのしみ⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> むしをさがそう むしをさがそう むしをさがそう むしをさがそう むしをさがそう むしをさがそう 	<p>たのしいあそび⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> あそびをさがそう あそびをさがそう あそびをさがそう あそびをさがそう あそびをさがそう あそびをさがそう 	<p>あきのおもちやまつり⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> おもちやをつく おもちやをつく おもちやをつく おもちやをつく おもちやをつく おもちやをつく 	<p>おてつだいめいじんたいぼう⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> できるよおてつだい できるよおてつだい できるよおてつだい できるよおてつだい できるよおてつだい できるよおてつだい 	<p>ふゆがきたよ⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> ふゆをさがそう ふゆをさがそう ふゆをさがそう ふゆをさがそう ふゆをさがそう ふゆをさがそう 	<p>もうすぐ2ねんせい⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> いちねんかんをふりかえろう あたらしい1ねんせいをしよう あたらしい1ねんせいをしよう あたらしい1ねんせいをしよう あたらしい1ねんせいをしよう あたらしい1ねんせいをしよう 	<p>なつかず(算数)</p> <p>あさどろ(国語)</p> <p>ゲーム「鬼遊び」(体育)</p>	<p>固定施設遊び(体育)</p> <p>かたつむり(音楽)</p> <p>水遊び(体育)</p>	<p>なつかず(算数)</p> <p>あさどろ(国語)</p> <p>ゲーム「鬼遊び」(体育)</p>	<p>なつかず(算数)</p> <p>あさどろ(国語)</p> <p>ゲーム「鬼遊び」(体育)</p>
2年生	<p>きょう だいすき</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生をむかえる会 1年生をむかえる会 1年生をむかえる会 1年生をむかえる会 1年生をむかえる会 1年生をむかえる会 	<p>生保内のまちへきょうだいで⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> まちのことを語ろう まちのことを語ろう まちのことを語ろう まちのことを語ろう まちのことを語ろう まちのことを語ろう 	<p>びいすの生きものひろば⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> 生き物をさがしに行こう 生き物をさがしに行こう 生き物をさがしに行こう 生き物をさがしに行こう 生き物をさがしに行こう 生き物をさがしに行こう 	<p>のりものに出かけよう⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> 内陸線を使おう 内陸線を使おう 内陸線を使おう 内陸線を使おう 内陸線を使おう 内陸線を使おう 	<p>こんにちほ生保内としよかん⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館に行こう 図書館に行こう 図書館に行こう 図書館に行こう 図書館に行こう 図書館に行こう 	<p>もつとなかよし まちたんけん⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> おさんぽたんけん おさんぽたんけん おさんぽたんけん おさんぽたんけん おさんぽたんけん おさんぽたんけん 	<p>おもちゃけんきゅうじよ⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> どんなおもちゃを作れるかな どんなおもちゃを作れるかな どんなおもちゃを作れるかな どんなおもちゃを作れるかな どんなおもちゃを作れるかな どんなおもちゃを作れるかな 	<p>大きくなったぼく・わたし⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きくなった自分をかえろう 大きくなった自分をかえろう 大きくなった自分をかえろう 大きくなった自分をかえろう 大きくなった自分をかえろう 大きくなった自分をかえろう 	<p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p>	<p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p>	<p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p>	<p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p> <p>きょうだいで(国語)</p>	

学校テーマ「ふるさとのよさがわかり ふるさとが大好きな子ども」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>単元名 (予定時数)</p> <p>主な学習活動</p>	<p>すてき発見, 田沢湖! パートI (30時間)</p> <p>○自分たちが住んでいる田沢湖地区の「すてき」を見つけよう ○ウエビングマップを作り, 田沢湖地区のイメージを広げよう ○仙北市の他の地区の「すてき」はどんなものがあるか考えよう ○みんなで仙北市の様子を見に行こう ○3つの地区それぞれの特長をまとめよう ○自分が調べたい田沢湖地区の「すてき」を決めよう ○調べる方法を考えよう ○調べ活動の「わざ」を身につけよう① ・パソコンで文字を入力してみよう ・インターネットの使い方を知ろう ・図書室を使ってみよう ○調べ計画を立てよう ○調べたことをまとめよう ○調べたことを発表しよう ○活動の振り返りをしよう</p> <p>すてき発見, 田沢湖! パートII (35時間)</p> <p>○田沢湖地区の「すてき」をもう一度確かめに行こう (温泉, 田沢湖伝説, 山の芋鍋, 山菜, はちみつ屋, お土産など) ○同じ課題でグループを作り, 交通手段を調べよう ○探検計画を立てよう ○調べ活動の「わざ」を身につけよう② ・タブレットやデジタルカメラの使い方を知ろう ・ローマ字で文字を入力してみよう ・パソコンで文章を打ってみよう ○グループごとに探検に出かけよう ○調べたことをまとめよう ○調べたことを発表しよう ○調べたことを互いに発表し合おう ○活動を振り返ろう ○お世話になった人に感謝の気持ちを伝えよう ○どのように伝えるのか考えよう ○考えた方法で表現しよう ○活動を振り返ろう</p>											
<p>各教科等との関連</p>	<p>社会 「学校のまわり」 「市の様子」 「のこしたいたいもの, つたえたいもの」 「気になる記号」(材料を集めて報告する文章を書こう) 「伝えよう楽しい学校生活」(インタビューの仕方)</p> <p>国語 「ローマ字」 「ありがとうを伝えよう」 「わたしの三大ニュース」</p>											

平成30年度

総合的な学習の時間年間指導計画

生保内小学校4年
総時数65時間

学校テーマ「ふるさとのよさがわかり ふるさが大好きな子ども」

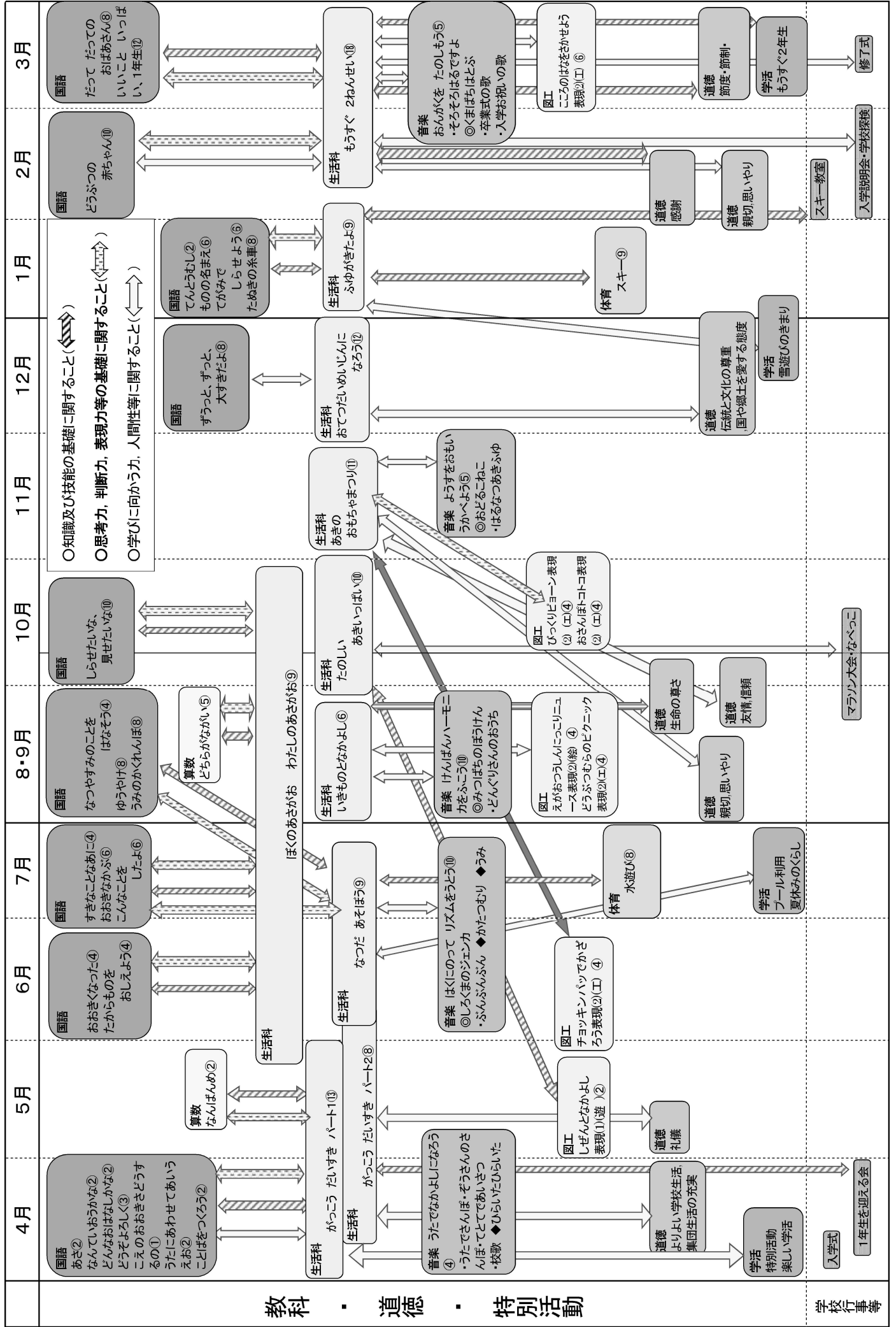
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名 (予定時数) 主な学習活動	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>発信しよう！ふるさとのよいところ（前半22時間・後半28時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年の活動を振り返り，課題をつくらう ○ 課題を解決するための学習計画を立てよう ○ 仙北市の自慢できることを調べよう ○ 実際に体験をしてみよう ○ 発信する方法を考えよう ○ 発表会を通して発信方法について考えを深めよう ○ ゲストティーチャーを招いてアドバイスをしてもらおう ○ 考えた発信方法を秋田市でやってみよう ○ 活動を振り返り，今後の活動や生活について考えよう </div> <div style="width: 48%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1/2 成人式をしよう (15時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の成長の様子をふり返り，変化してきたことを調べよう ○ 友達の変化を調べ，成長した点やよさを話し合おう ○ これからの自分について考えよう ○ 発表会を開こう </div> </div>											
各教科等との関連	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>社会「きょう土を開く」 道徳「本当の友達」</p> <p>国語 算数 図工 「仕事リレープレットを作ろう」 「くふうして計算しよう」 「イメージを広げて」</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>国語「手と心で読む」 体育「育ちゆく体とわたし」 学級活動「友だちのよさを伝えよう」</p> <p>国語「新聞を作ろう」</p> </div> </div>											

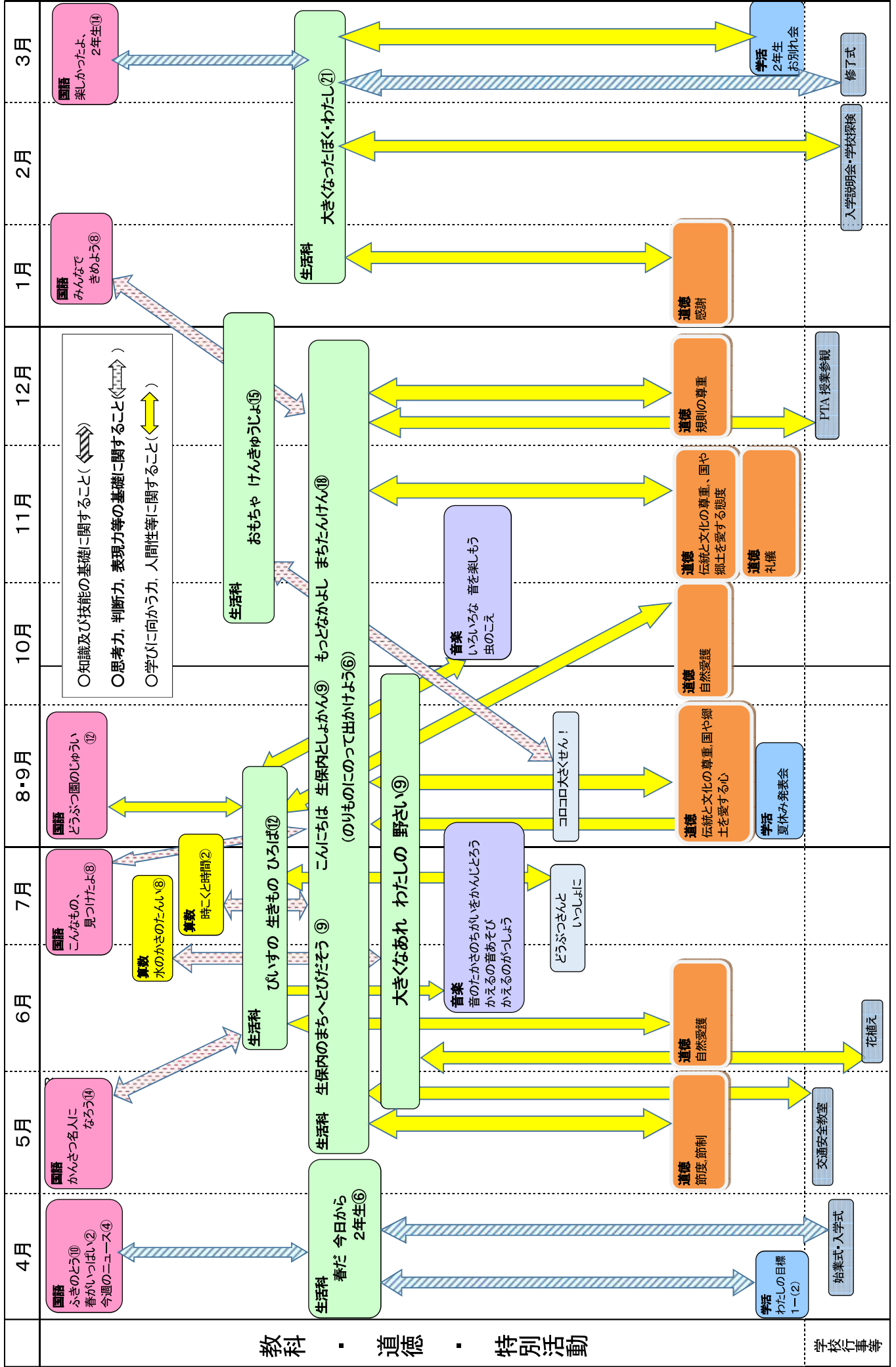
学校テーマ「ふるさとのよさがわかり ふるさどが大好きな子ども」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名 (予定時数) 主な 学習活動	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>美しいふるさとを未来へ パートⅠ (22時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駒ヶ岳で起こりうる自然災害について知ろう ○国や地方自治体が行っている対策や事業について知ろう ○自分たちにできることを考え、行動しよう (秋田駒ヶ岳砂防探検隊 参加) </div> <div style="width: 48%;"> <p>美しいふるさとを未来へ パートⅡ (22時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田沢湖の環境の変化について知ろう ○国や地方自治体が行っている対策や事業について知ろう ○自分たちにできることを考え、行動しよう (クニマス未来館 見学) </div> </div>											
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>お米探検隊 (6時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○米づくりについて知ろう ○収穫した米を食べよう (田植え作業体験○稲刈り作業体験○カントリーエレベーター見学) </div> <div style="width: 48%;"> <p>秋田の自然と触れ合おう (10時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画を立てよう ○自然のすばらしさを体験しよう ○友情を深めよう (保呂羽山宿泊体験学習) </div> </div>											
各教科等 との関連	国語「次への一歩～活動報告書」 家庭「はじめてみようクッキング」 道徳「名医 順庵」											
	国語「次への一歩～活動報告書」 「百年後のふるさとを守る」 社会「私たちの生活と環境」 理科「流れる水のはたらき」											
社会「私たちの生活と食料生産」 理科「植物の発芽と成長」 国語「明日をつくるわたしたち」												
国語「明日をつくるわたしたち」 社会「私たちの生活と食料生産」												
<p>これからのふるさとについて 考えよう (5時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習を通して知った、人々の努力や工夫についてまとめよう。 ○ふるさとが抱える問題について考え、その解決法をまとめよう。 												

学校テーマ「ふるさとのよさがわかり ふるさどが大好きな子ども」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名 (予定時数) 主な 学習活動	<p>ふるさと再発見！パートI (20時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の見直しをもと ○課題を決めて、研修計画を立てよう <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県 (仙台市・松島町) の自然や文化, 歴史に学ぼう (復興の様子, まちの発展の様子) ○宮城県 (仙台市・松島町) で調べ学習をしよう ○調べたことをまとめよう ○ふるさとを, 外からの視点で見直そう 											
	<p>ふるさと再発見！パートII (35時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと (田沢, 生保内) の現状をさまざま観点で見直し, さらに発展させていくために, どのような活動をしていくか考えよう (何を 誰に どのように やって) ・農業, 林業 (食, おみやげなど) ・観光資源 (田沢湖, 駒ヶ岳, スキー場, 温泉など) ・地域の人々 (協力体制など) ・海外の人々 (モーグル大会など) <p>○活動の計画を立てよう</p> <p>○実践しよう</p>											
各教科等との関連	<p>国語「ようこそ、私たちの町へ」 「未来がよりよくなるために」 社会「日本の歴史」「世界の中の日本」 道徳「修学旅行の夜」</p>											
	<p>道徳「うちら『ネコの手』ボランティア」 「櫻守の話」 「白神山地」</p>											
<p>自分再発見！(10時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の自分を見つめ直そう ・将来の自分について考えよう ・よりよき生きるために, 今からできることを考え取り組もう。 												
<p>国語「今、私は、ぼくは」 道徳「公共のために役立つこと」 道徳「あこがれのパティシエ」 「心をつなぐ音色」「夢」</p>												



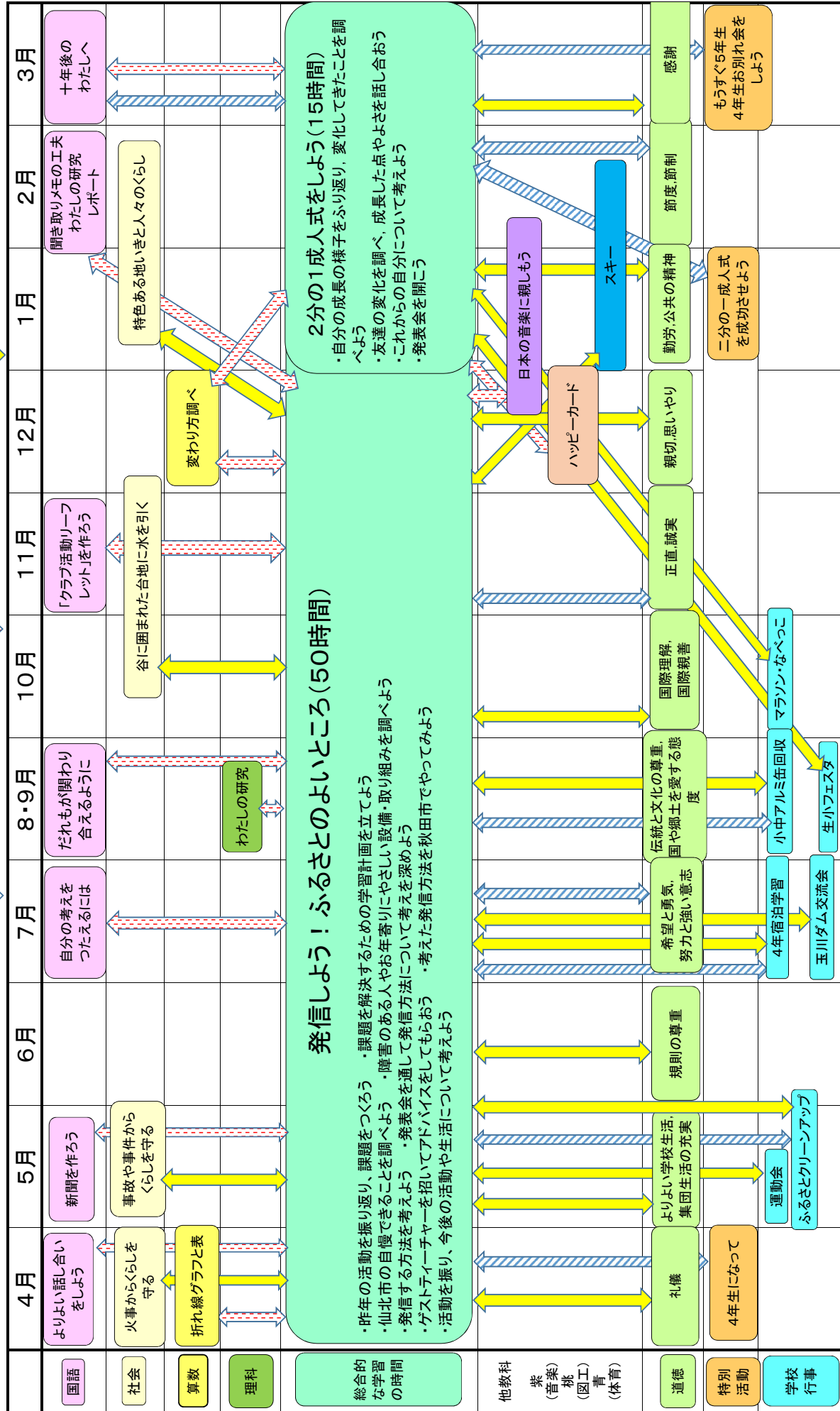


教科 ・ 道徳 ・ 特別活動

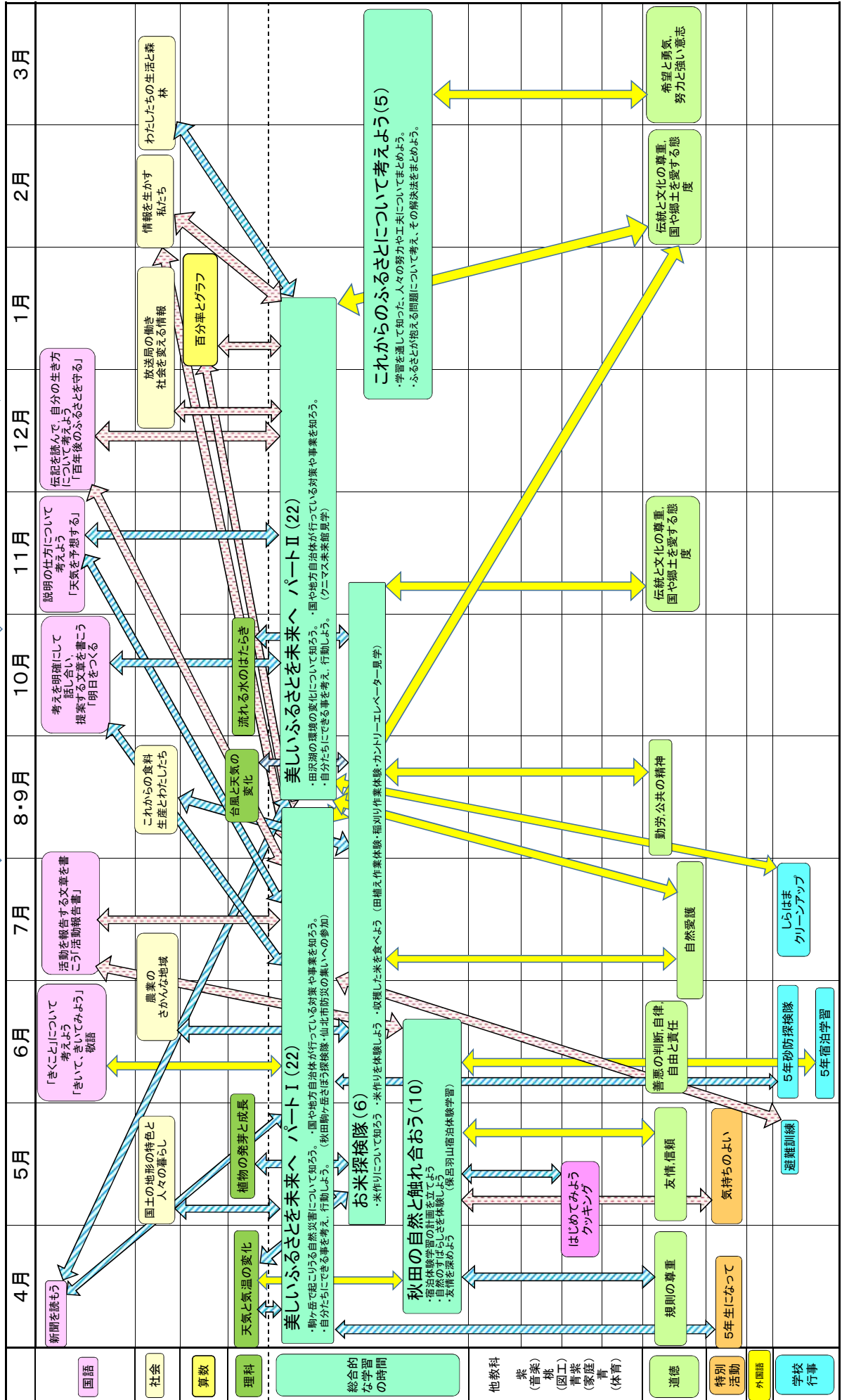
○知識及び技能 () ○思考力・判断力・表現力等 () ○学びに向かう力、人間性等 ()

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	よく聞いて自己紹介	よい聞き手になろう	気になる記号	ローマ字	伝えよう 楽しい学校生活	食べ物のひみつを 教えてください	しりよから分かる 小学生のこと	コンピュータの ローマ字入力	わたしの 三大ニュース		
社会	学校のまわり	どれくらい育ったかな	仙北市のようす	花がさいたよ	店ではたらく人	農家の仕事	古い道具と昔のくらし	のこしたいもの ほうグラフと表			
算数											
理科											
総合的な学習の時間	<p>すてき発見、田沢湖！パート1 (30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住んでいる田沢湖地区の「すてき」を見つけよう みんなでウェビングマップをつくり、イメージを広げよう みんなが仙北市の様子を見に行こう・仙北市の特徴をまとめよう 自分の課題を決めよう・調べる方法を考えよう 調べる計画を立てよう *調べ活動の「わざ」を身につけよう① 田沢湖方面にフィールドワークへ行こう 調べたことをまとめる方法を考えよう 調べたことをまとめよう 調べたことを発表しよう 		<p>すてき発見、田沢湖！パート2 (35)</p> <ul style="list-style-type: none"> 田沢湖地区の「すてきなところ」を確かめに行こう (温泉・田沢湖伝説・山の芋鍋・山菜・はちみつ屋・お土産屋など) 同じ課題でグループをつくり、交通手段を調べよう 探検計画を立てよう *調べ活動の「わざ」を身につけよう② グループごとに探検に出かけよう 調べたことをまとめる方法を考えよう 調べたことをまとめよう 調べたことを互いに発表し合おう 活動を振り返ろう 								
他教科 紫(音楽) 桃(図工) 青(体育)											
道徳	礼儀		規則の尊重	よりよい学校生活、 集団生活の充実				自然保護			
特別活動	3年生になって	絵画で元氣いっぱい									もうすぐ4年生 3年生お別れ会をしよ
学校行事		運動会	花の苗植え	しらはま クリーンアップ	生ハフエスタ	マラソン・なべっこ			スキー①		スキー学習 スキー教室

○知識及び技能 () ○思考力・判断力・表現力等 () ○学びに向かう力、人間性等 ()



○知識及び技能() ○思考力・判断力等() ○学びに向かう力、人間性等()



平成30年度 第6学年 カリキュラムデザイン * 総合的な学習の時間との関連ver.

生保内小学校

○知識及び技能() ○思考力・判断力・表現力等() ○学びに向かう力、人間性等()

参考) ○学習方法に関すること(赤矢印) * 「課題設定力」「課題探求力」「表現・伝達能力」○自分自身に関わること(青矢印) * 「自己形成力」○他者や社会との関わりに関すること(黄矢印) * 「学び合う力」

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう 「学級討論会をしよう」	町のよさを伝えるパンフレットを作ろう 「ようこそ私たちの町」	意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう	筆者の考えとらえ、自分の考えと比べて書こう	登場人物の関係を捉え、人物の生き方について話し合おう 「海の命」 話し方を工夫し、資料「生き物」 「生きる」 「生き物はつながりの卒業するみなさんへ」 「中学校へつなげよう」							
社会	1 日本の歴史											
算数	2 わたしたちの生活と政治											
理科	3 世界の中の日本											
総合的な学習の時間	◆オリエンテーション ○活動のテーマとめあてを確かめよう	◆ふるさと再発見！パートI (20) ○学習の見直しをもとう ○課題を決めて、研修計画を立てよう ・宮城県(仙台市・松島町)の自然や文化、歴史に学ぼう (復興の様子、まちの発展の様子) ○宮城県(仙台市・松島町)で調べ学習をしよう ○調べたことをまとめよう	◆ふるさと再発見！パートII (35) ○ふるさと(田沢、生保内)を様々な視点で見直し、さらに発展させていくためにどのような活動をしていくか考えよう (何を 誰に どのように どのように) どうやって ・農業、林業(食、おみやげなど) ・観光資源(田沢湖、駒ヶ岳、スキー場、温泉など) ・地域の人々(協力体制など) ・海外の人々(モータール大会など) ○活動の計画を立てよう ○トラ・ザ夏休みで調べよう ○実践しよう ○成果と課題をまとめよう	◆ふるさと再発見！パートIII (10時間) ・今の自分を見つめ直そう ・将来の自分について考えよう ・よりよくなるために、今からできることを考え取り組もう								
他教科	おぼろ月夜 「感じたままに花」 「わたしのお気に入りの場所」	われは海の子	「布や枝のコンサート」	「白の世界」	「わたしたちの生活と地域」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」	「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」	「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」	「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」	「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」	「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」	「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」 「わたしはデザイナー」	
道徳	善悪の判断、自律、自由と責任	勤労、公共の精神	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	希望と勇気、努力に強い意志	個性の伸長	希望と勇気、努力に強い意志	個性の伸長	希望と勇気、努力に強い意志	個性の伸長	希望と勇気、努力に強い意志	個性の伸長	
特別活動	修学旅行の約束を決めよう	修学旅行の約束を決めよう	フェスタの内容を考えよう フェスタを成功させよう	学校のためにできることをしよう	卒業プロジェクトの計画を立てよう	卒業プロジェクトの計画を立てよう	卒業プロジェクトの計画を立てよう	卒業プロジェクトの計画を立てよう	卒業プロジェクトの計画を立てよう	卒業プロジェクトの計画を立てよう	卒業プロジェクトの計画を立てよう	
外国語活動	ふるさとクイズアップ	修学旅行	PTA授業参観	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	
学校行事	ふるさとクイズアップ	修学旅行 中学校総体 壮行会参加	PTA授業参観	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	生小フェスタ	

平成30年度 総合的な学習の時間 全体計画

<p>【学校教育目標】 夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!</p> <p>【目指す子ども像】 ・思いやりの心をもち、仲間と力を合わせて生活する子ども ・めあてをもち、課題や問題の解決に進んで取り組む子ども ・困難に立ち向かい克服しようとする、たくましい心と体をもつ子ども</p> <p>【育みたい資質・能力】 ・思いやりの心をもって人と接する力、仲間と協力し合い、自分の役割を自覚してよりよい集団を築く力 ・課題を見出す力、自分の考えを言葉で表現する力、仲間と協力しながら課題を解決を目指す力 ・より高い目標をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く力</p>	<p>【研究主題】 自ら課題をもち、進んで学ぼうとする子どもの育成 ～関わり合いながら、学びを深めていく指導を通して～</p> <p>【目指す子どもの姿】 他と関わり合いながら、めあてをもち、思いや考えを伝え合い、学びを深めていく子ども</p> <p>【指導上の工夫の視点】 ①めあてを引き出し、意識させる。 ②「伝える力」を育てる。 ③思考ツールなどを活用して「考える力」を育てる。 ④「学びを深めて、生かそう」とする意欲を高める。</p>
--	--

【目標】 (テーマ) 「ふるさとのよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども」

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「ひと・もの・こと」に関する横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を以下のとおり育成することを目指す。

(1) 地域の「ひと・もの・こと」に関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、豊かな自然や観光資源に恵まれた地域の特色やよさが分かり、それらに対する様々な人々の思いや願いとともに、努力や工夫によって支えられていることに気付く。

(2) 地域の「ひと・もの・こと」の中から課題を見付け、その解決に向けて予想を立てたり、情報を集めたりして、それらを整理・分析する力を身に付けるとともに、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。

(3) 地域の「ひと・もの・こと」との関わりを通して、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの思いや願いを生かしながら、ふるさと仙北市に対する誇りと愛情を高め、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

【内容】 目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

【重点】 ふるさと学習を中核に位置付け、4年間を見通したふるさとに関わる課題を学習する。

	3年	4年	5年	6年
探究課題	<p>すてき発見 田沢湖 ○生保内地区の施設や自然、観光資源 ○生保内地区の伝統や文化を守る人々</p> <p>生保内地区についての理解を深め、ふるさとのよさを知る。</p>	<p>ふるさとのよさをPRしよう ○仙北市全体の施設や自然、観光資源 ○地域の発展や観光に関わる人々</p> <p>市全体についての理解を深め、発信を通して、ふるさと仙北市のよさを知る。</p>	<p>美しいふるさとを未来へ ○身近な自然環境とそこに起きている環境問題</p> <p>地域の自然環境に触れ、そこで起きている環境問題を知り、生活や環境を守るための人々の努力や自分の生き方を考える。</p>	<p>ふるさとを見つめ直し未来について考えよう ○地域の現状とそこに暮らす人々の思いや努力 ○自分と地域社会との関わり</p> <p>地域・社会の人の思いに気付き、自分の将来や生き方を考える。</p>
知識及び技能	<p>・地域の特徴やよさが分かる。 ・地域のよさや特徴に気付き、よさや特徴を支えている様々な人々の努力や工夫、願いが分かる。</p> <p>・情報を比較・分類するなど、探究の課題に応じた技能を身に付ける。</p>	<p>・他の地域との比較等を通して、仙北市全体のよさや特徴に気付き、それらを支えている様々な人々の努力や工夫、願いが分かる。</p>	<p>・地域の自然や環境の現状に気付き、自然や環境を守る人々の様々な努力や工夫、願いが分かる。</p> <p>・情報を整理し、関連付けたり、多面的に考察したりするなど、探究の課題に応じた技能を身に付ける。</p>	<p>・地域が抱える諸問題に気付き、解決に向けて取り組む人々の努力や工夫、願いが分かる。</p>
思考力・判断力・表現力等	<p>【生活科】 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。</p> <p>【課題の設定】 ・生活や体験を通して気付いたことや疑問に思ったことを基に、調べてみたいことを見出し、課題を設定する。 ・課題解決の方法を考え、学習計画を立てる。 【情報の収集】 ・対象や目的に合わせて進んで情報を収集したり、蓄積したりする。 【整理・分析】 ・集めた情報を比較したり、分類したりするなどの整理を通して、特徴を見付ける。 【まとめ・表現】 ・分かったことや学んだこと、自分の思いや考えを、相手や目的に応じて、分かりやすくまとめたり、伝えたりする</p>	<p>【中学校】 学習素材と出会ったときの気付きや、これまでの知識や体験を整理したり、解決に向けて見直しを立てたりする力を身に付けるようにする。</p> <p>【課題の設定】 ・自分の興味や関心を基に、生活や体験を通して得られた気付きや疑問を対比したり選択したりしながら、課題を設定する。 ・方法や手順を考えるなど課題解決の見通しをもち、学習計画を立てる。 【情報の収集】 ・対象や目的に合わせて調べる方法を選択し、情報を収集したり、蓄積したりする。 【整理・分析】 ・集めた情報を整理し、関連付けたり、多面的に考察したりするなど分析を通して、特徴を見付けている。 【まとめ・表現】 ・分かったことや学んだこと、自分の思いや考えを、相手や目的に応じて効果的に表現する方法を選び、分かりやすくまとめたり、伝えたりする。</p>		
学びに向かう力・人間性等	<p>【生活科】 身近な人々、社会及び自然と自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。</p> <p>【主体性】 課題解決に向けて、体験や活動対象に素直に関わるなど意欲的に取り組む。 【協働性】 相手の立場や気持ちを考えながら、他者と協力して課題を解決する。 【自己理解】 自分や友達のよさに気付き、自分のものの見方や考え方に気付く。 【他者理解】 自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解する。 【社会参画】 自分と地域とのつながりに気付き、地域のよさを大切にしようとする。 【将来展望】 自己の生き方を考え、夢や希望をもとうとする。</p>	<p>【中学校】 計画に沿って観察や情報の収集・選択をしたり、意見交換等を行ったりするなど、課題解決に向かうことができるようにする。</p> <p>【主体性】 課題解決に向けて、体験や活動対象に主体的に関わるなど意欲的に取り組む。 【協働性】 異なる意見や他者を受け入れながら、他者と協力して課題を解決する。 【自己理解】 自分や友達のよさや違いに気付き、自分のものの見方や考え方を深める。 【他者理解】 自分と異なる意見や考えを大切にするなど、相手の立場を理解する。 【社会参画】 自分と地域の関わりを基に地域の問題を解決するなど、地域に対する誇りをもつ。 【将来展望】 自己の生き方を見つめ直し、夢や希望をもつ。</p>		

<p>【学習活動】 ・学年で地域の「ひと・もの・こと」を題材にした探究課題を設定し、展開に応じて学習形態を考える。 ・地域の実態を基に、児童の思いや願いをはじめ、教師の思いも生かし、児童が追究したい気持ちを継続できるテーマで進める。</p>	<p>【指導体制】 ・生活科とのつながりを踏まえ、指導の系統性・継続性を図る。 ・全教職員による指導、外部団体との支援体制づくりとその連絡調整に努める。 ・ふるさとについて学ぶために地域の題材・人材を効果的に活用する。</p>	<p>【各教科等との関連】 ・教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力を育む。 ・各教科等で身に付けた資質・能力を総合に関連付けた指導の充実を図る。</p>
<p>【指導方法】 ・児童の課題意識を継続、さらに発展させるための支援とその工夫を行う。 ・他者と協働して問題を解決しようとする学習活動を充実する。 ・言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動を重視する。*思考ツール等の活用</p>	<p>【学習評価】 ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・個人内評価を重視し、指導と評価の一体化に努める。 ・学年末における単元の指導計画を振り返り、次年度の計画につなげる。</p>	<p>【地域等との連携】 ・クニマス未来館 ・秋田駒ヶ岳防災ステーション ・玉川ダム ・田沢湖高原温泉郷 ・乳頭温泉郷 ・国土交通省東北整備局湯沢河川国道事務所 ・仙北市役所 ・田沢湖観光協会 ・仙北市商工会 ・だしのこ園 ・中学校 ・生小応援団</p>



【学校教育目標】 夢に向かって やさしく！ かしこく！ たくましく！

【研究主題】 自ら課題をもち、進んで学ぼうとする子どもの育成
～関わり合いながら、学びを深めていく指導を通して～

【めざす子どもの姿】

- ・思いやりの心を持ち、仲間と力を合わせて生活する子ども
- ・めあてをもち、課題や問題の解決に進んで取り組む子ども
- ・困難に立ち向かい克服しようとする、たくましい心と体をもつ子ども



【生活科の研究主題】 思いや願いをもって「ひと・もの・こと」と関わり、
気付きの質を高め表現する子どもの育成
～地域とつながる生活科の授業を通して～

【研究の重点】

【「気付きの質を高める単元構想と授業づくり」の視点から】

- ① 体験と表現を繰り返す学習過程による気付きの質を高める日々の授業改善
- ② 生活科を中心とした総合的・関連的な指導等を通じたスタートカリキュラムの構想と実施
- ③ 中学年との接続を意識した2年間の学習活動の在り方
- ④ 思考力と表現力を育成するための学習活動の充実

【「単元構想と授業づくりを支えるカリキュラム・マネジメント」の視点から】

- ① 全体計画及び年間指導計画等の見直し
- ② 地域の学習材の開発と活用、子どもの学習活動を支える組織（「生小応援団」との連携）
- ③ 認定こども園（「だしのこ園」との連携）
- ④ 単元構想時の工夫

【総合的な学習の時間の目標】 「ふるさとのよさがわかり、ふるさどが大好きな子ども」

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「ひと・もの・こと」に関する横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を以下のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域の「ひと・もの・こと」に関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、豊かな自然や観光資源に恵まれた地域の特徴やよさが分かり、それらに対する様々な人々の思いや願いとともに、努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域の「ひと・もの・こと」の中から課題を見付け、その解決に向けて予想を立てたり、情報を集めたりして、それらを整理・分析する力を身に付けるとともに、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域の「ひと・もの・こと」との関わりを通して、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの思いや願いを生かしながら、ふるさと仙北市に対する誇りと愛情を高め、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

【指導の重点】 ふるさと学習を中核に位置付け、4年間を見通したふるさとに関わる課題を学習する。

【生保内中学校・総合的な学習の時間の目標】 活動の中から課題を見出し、解決に向けて主体的に行動し、学んだことを工夫して表現できる生徒の育成

【指導の重点】

- ・ 体験を通して課題を見つけ解決する学習
- ・ 「発見」→「探究」→「自立」という流れを意識した学習
- ・ 学んだことを工夫して発表、表現する学習学年の発達段階を考慮し、学年単位の学習活動を展開する。



【主な学習内容（テーマ）】

(中学校「総合的な学習の時間」)

中学校 3年	発見 探究 自立	①東京への修学旅行を通して、他県や他地域への見聞を広げ、ふるさを見つめ直す。 ②「高校体験入学」を通して、自分の進路を見つめ、将来の生き方を考える。
中学校 2年	発見 探究	①県庁所在地を訪問し、私たちの住む地域とのつながりを学ぶ。 ②「キャリア体験学習」や「上級学校訪問」を通して、働くことについて学ぶ。
中学校 1年	発見	①登山や植物観察等を通して、郷土の自然にふれ、郷土のよさを知り、郷土から学ぶ。 ②「身近な職業調べ」を通して、職業について学ぶ。

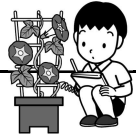
(小学校「総合的な学習の時間」)

6年	ふるさを見つめ直し 未来について考えよう 「ふるさと 再発見」「自分 再発見」
5年	美しいふるさとを 未来へ 「美しいふるさとを未来へ パートⅠ」・「美しいふるさとを未来へ パートⅡ」 「お米探検隊」「秋田の自然と触れ合おう」・「これからのふるさとについて考えよう」
4年	ふるさとのよさを PRLしよう 「発信しよう！ふるさとのよいところ」・「1/2成人式をしよう」
3年	すてき 発見 田沢湖 「すてき発見、田沢湖！パートⅠ」・「すてき発見、田沢湖！パートⅡ」



(小学校「生活科」)

2年	「ときどきわくわくまちたんけん（まちたんけんをしよう）」 「みんなでつかうまちのしせつ（電車にのってでかけよう）」 「もっとなかよしまちたんけん～おぼない大すき～（もういちどたんけんに行こう）」
1年	「がっこうだいすき（こうていを たんけんしよう）」「なつだ あそぼう（おぼないこうえんであそぼう）」 「たのしいあきいっぱい（こうえんであきをさがそう）」



*（だしのこ園） *総合的な学習の時間の内容につながるものを抜粋

年長児 身近な環境に進んでかかわり、季節や生活の変化に気付くとともにそれらを生活に取り入れようとする。
・様々な事象にふれ、自分の生活の関連を考えたり、遊びを工夫したりする。
・疑問にもったこと、発見したことについて調べる。

*保育課程・教育課程より関係のあるものを抜粋

スタートカリキュラム全体計画

仙北市立生保内小学校

☆スタートカリキュラムとは…

小学校へ入学した子どもが幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムである。

1. ねらい



(子ども)

- ① 安心して学校生活を過ごすことができるようにすること (生活する力)
- ② 意欲的に学習に取り組むことができるようにすること (学ぶ力)
- ③ 進んで他者と関わるができるようにすること (関わる力)

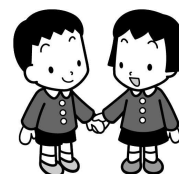
(教職員)

- すべての教職員が子どもたちと関わりをもつために、
学校全体として取り組むこと (学校全体で子どもを見守る力)

2. 育てたい子どもの姿

- ① 自分らしさを出し、元気にのびのびと過ごす子ども
- ② 進んで、楽しく学習できる子ども
- ③ 友達の気持ちを考え、みんなと楽しく過ごすことができる子ども

3. カリキュラム編制の基本方針



① 一人一人の子どもの姿を大切に作る。

だしのご園を中心とした園との情報交換を行い、幼児期の学びと育ちの様子、指導の在り方などを生かして、一人一人の子どもの姿を大切にしながら進めていく。

② 子どもの発達の特徴を基に、時間割や学習内容を工夫する。

入学期の学びの特徴を踏まえ、20分や15分程度のモジュールで時間割を構成したり、活動性のある学習活動を行ったりするように工夫する。

③ 生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を目指す。

自分との関わりを通して総合的に学ぶ子どもの発達の特徴を踏まえ、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を図る。

④ 安心して進んで学びを広げる環境を整える。

子どもが安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができるよう学習環境を整える。

H30 カリキュラムデザイン

(スタートカリキュラム実施時期 ver.)

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	
国語	<p>なんていおうかな</p> <p>えんびつのもちかた・よいしせい</p> <p>なんていおうかな</p> <p>どうしよく</p> <p>なんていおうかな</p> <p>なんのなまえかこころ</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>うたにあわせてあいうえお</p> <p>こまのおおきさとおうすりの</p>	<p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>なんばんめ</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p>	<p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>なんばんめ</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p>	<p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>なんばんめ</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p>	<p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>なんばんめ</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p>	<p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>なんばんめ</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>くらべてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p> <p>ひらがなをわいてみよう</p>
算数	<p>1から10までのかず</p>	<p>くらべてみよう</p>	<p>くらべてみよう</p>	<p>くらべてみよう</p>	<p>くらべてみよう</p>	
生活	<p>がっこう だいすき</p> <p>はじめまして (1週)</p> <p>たんけんしよう (2週)</p> <p>なかよしになろう (3週)</p> <p>ひとりのできるよ (4・5週)</p>	<p>はじめまして (1週)</p> <p>たんけんしよう (2週)</p> <p>なかよしになろう (3週)</p> <p>ひとりのできるよ (4・5週)</p>	<p>はじめまして (1週)</p> <p>たんけんしよう (2週)</p> <p>なかよしになろう (3週)</p> <p>ひとりのできるよ (4・5週)</p>	<p>はじめまして (1週)</p> <p>たんけんしよう (2週)</p> <p>なかよしになろう (3週)</p> <p>ひとりのできるよ (4・5週)</p>	<p>はじめまして (1週)</p> <p>たんけんしよう (2週)</p> <p>なかよしになろう (3週)</p> <p>ひとりのできるよ (4・5週)</p>	<p>はじめまして (1週)</p> <p>たんけんしよう (2週)</p> <p>なかよしになろう (3週)</p> <p>ひとりのできるよ (4・5週)</p>
音楽	<p>じょうかい</p> <p>お兄さん・お姉さんとなかよくなろう</p> <p>めいしをつくろう</p> <p>がっこうをあんないしてもらおう</p> <p>こうていであそぼう</p> <p>せんせいとなかよくなろう</p> <p>がっこうのちかくをたんけんしよう</p>	<p>お兄さん・お姉さんとなかよくなろう</p> <p>めいしをつくろう</p> <p>がっこうをあんないしてもらおう</p> <p>こうていであそぼう</p> <p>せんせいとなかよくなろう</p> <p>がっこうのちかくをたんけんしよう</p>	<p>お兄さん・お姉さんとなかよくなろう</p> <p>めいしをつくろう</p> <p>がっこうをあんないしてもらおう</p> <p>こうていであそぼう</p> <p>せんせいとなかよくなろう</p> <p>がっこうのちかくをたんけんしよう</p>	<p>お兄さん・お姉さんとなかよくなろう</p> <p>めいしをつくろう</p> <p>がっこうをあんないしてもらおう</p> <p>こうていであそぼう</p> <p>せんせいとなかよくなろう</p> <p>がっこうのちかくをたんけんしよう</p>	<p>お兄さん・お姉さんとなかよくなろう</p> <p>めいしをつくろう</p> <p>がっこうをあんないしてもらおう</p> <p>こうていであそぼう</p> <p>せんせいとなかよくなろう</p> <p>がっこうのちかくをたんけんしよう</p>	<p>お兄さん・お姉さんとなかよくなろう</p> <p>めいしをつくろう</p> <p>がっこうをあんないしてもらおう</p> <p>こうていであそぼう</p> <p>せんせいとなかよくなろう</p> <p>がっこうのちかくをたんけんしよう</p>
図工	<p>ころをか</p> <p>いろをぬろう</p> <p>はさみをつかおう</p>	<p>ダンスのおんがくをきこう</p> <p>はさみをつかおう</p>	<p>ダンスのおんがくをきこう</p> <p>はさみをつかおう</p>	<p>ダンスのおんがくをきこう</p> <p>はさみをつかおう</p>	<p>ダンスのおんがくをきこう</p> <p>はさみをつかおう</p>	<p>ダンスのおんがくをきこう</p> <p>はさみをつかおう</p>
体育	<p>ならびかた</p> <p>ラジオ体操</p> <p>ダンス</p> <p>ダンス</p> <p>80m走</p> <p>ダンス</p>	<p>ならびかた</p> <p>ラジオ体操</p> <p>ダンス</p> <p>ダンス</p> <p>80m走</p> <p>ダンス</p>	<p>ならびかた</p> <p>ラジオ体操</p> <p>ダンス</p> <p>ダンス</p> <p>80m走</p> <p>ダンス</p>	<p>ならびかた</p> <p>ラジオ体操</p> <p>ダンス</p> <p>ダンス</p> <p>80m走</p> <p>ダンス</p>	<p>ならびかた</p> <p>ラジオ体操</p> <p>ダンス</p> <p>ダンス</p> <p>80m走</p> <p>ダンス</p>	<p>ならびかた</p> <p>ラジオ体操</p> <p>ダンス</p> <p>ダンス</p> <p>80m走</p> <p>ダンス</p>
道徳	<p>たのしいがっこう</p> <p>みんなのこうえん</p>	<p>たのしいがっこう</p> <p>みんなのこうえん</p>	<p>たのしいがっこう</p> <p>みんなのこうえん</p>	<p>たのしいがっこう</p> <p>みんなのこうえん</p>	<p>たのしいがっこう</p> <p>みんなのこうえん</p>	<p>たのしいがっこう</p> <p>みんなのこうえん</p>
学活	<p>入学式(9日)</p> <p>下校指導(10～12日)</p> <p>身体計測(11日)</p> <p>給食開始(13日)</p> <p>地区子供会(13日)</p>	<p>職員会議(16日)</p> <p>P T A 授業参観(18日)</p> <p>1年生を迎える会(19日)</p>	<p>職員会議(16日)</p> <p>P T A 授業参観(18日)</p> <p>1年生を迎える会(19日)</p>	<p>職員会議(16日)</p> <p>P T A 授業参観(18日)</p> <p>1年生を迎える会(19日)</p>	<p>職員会議(16日)</p> <p>P T A 授業参観(18日)</p> <p>1年生を迎える会(19日)</p>	<p>職員会議(16日)</p> <p>P T A 授業参観(18日)</p> <p>1年生を迎える会(19日)</p>
学校行事等	<p>市教研・仙教研(24日)</p> <p>歯科検診(25日)</p> <p>内科検診(26日)</p> <p>交通安全教室(27日)</p>	<p>市教研・仙教研(24日)</p> <p>歯科検診(25日)</p> <p>内科検診(26日)</p> <p>交通安全教室(27日)</p>	<p>市教研・仙教研(24日)</p> <p>歯科検診(25日)</p> <p>内科検診(26日)</p> <p>交通安全教室(27日)</p>	<p>市教研・仙教研(24日)</p> <p>歯科検診(25日)</p> <p>内科検診(26日)</p> <p>交通安全教室(27日)</p>	<p>市教研・仙教研(24日)</p> <p>歯科検診(25日)</p> <p>内科検診(26日)</p> <p>交通安全教室(27日)</p>	<p>市教研・仙教研(24日)</p> <p>歯科検診(25日)</p> <p>内科検診(26日)</p> <p>交通安全教室(27日)</p>
	<p>振替休日(30日)</p> <p>開校記念日(2日)</p> <p>憲法記念日(3日)</p> <p>みどりの日(4日)</p>	<p>振替休日(30日)</p> <p>開校記念日(2日)</p> <p>憲法記念日(3日)</p> <p>みどりの日(4日)</p>	<p>振替休日(30日)</p> <p>開校記念日(2日)</p> <p>憲法記念日(3日)</p> <p>みどりの日(4日)</p>	<p>振替休日(30日)</p> <p>開校記念日(2日)</p> <p>憲法記念日(3日)</p> <p>みどりの日(4日)</p>	<p>振替休日(30日)</p> <p>開校記念日(2日)</p> <p>憲法記念日(3日)</p> <p>みどりの日(4日)</p>	
	<p>* 1日だけ登校のため第5週も含める。</p>	<p>* 1日だけ登校のため第5週も含める。</p>	<p>* 1日だけ登校のため第5週も含める。</p>	<p>* 1日だけ登校のため第5週も含める。</p>	<p>* 1日だけ登校のため第5週も含める。</p>	

生活科		生活科の指導に関連するもの									
ねらい	【テーマ】「がっこうだいすき～はじめまして～」 小学校生活のだいたいの様子を知り、不安を解消しながら楽しく学校生活ができるようにする。										
日	9 日 (月)	10 日 (火)	11 日 (水)	12 日 (木)	13 日 (金)						
行事	入学式 *職員会議	下校指導 *委員会活動(発足)	身体計測 下校指導	避難訓練(初期対応) 下校指導 *内科検診(4～6年)	1年生給食開始 縦割り清掃開始 地区子ども会						
朝	<p>・登校したら、ランドセルの中の物を出し、ロッカーへランドセルを入れる。トイレ・水のみ・読み聞かせ・お絵かきなど ・朝のあいさつ・朝の歌(校歌)・健康観察・1日の予定の確認</p> <p>チャイムに合った行動の仕方の確認</p> <p>☆着替えは、座ったままならでき。 ☆トイレは、園ではすべて「洋式」だった。</p>										
1	学活 *9時～ おでかけ 返事の仕方 式のせつめい	学活 朝の会の 進め方 *健康観察の 進め方 など	学活 トイレや 水飲み場 の 使い方	学活 着替え *次時の身体 計測に合わせ て	学活 身体計測に ついて	身体計測 身長・体 重・視力	学活 廊下の 歩き方	音楽 校歌 じゃんけん列車	学活	国語 なんていうかな (職員室・特別教室への入 り方も含めて)	
2	入学式 ☆玄関でのくつのはき方につ いては確認する必要がある。	学活 靴かな 傘立て の 使い方	体育 並び方	身体計測 身長・体重・視力 *聴力は後日	国語 あさ	学活 避難訓練に ついて	避難訓練 *机の下に身を隠す。 *避難口を確かめる。 など	算数 1から10 までの数	体育 並び方		
長休み									地区子ども会		
3	学活 式のふりかえり 保護者へのあいさつ 明日からのやくそく	生活 自己紹介をしよう! ①名前 ②好きな○○ ③あいさつ	生活 学校たんけんを してみよう!	学活 掃除の *雑巾の絞り方 *床の拭き方	音楽 あさ	学活 ☆鉛筆の持ち方については、 一斉には指導していない。 持ち方はバラバラといつも よい。	国語 の持ち方 運筆練習	図工 色を ぬろう			
4	*玄関先で 交通安全協会から お守り等をいただき、 下校の予定	*3時間目を少し 早く切り上げ 帰りのしたく	*3時間 早く切り上げ 帰りのしたく	*3時間 早く切り上げ 帰りのしたく	*3時間 早く切り上げ 帰りのしたく	学活 ☆ぞうきんの絞り方は「干やでき る」...ただし、バケツの中では やっていない。	学活 給食の準備のしかた 楽しい食事 後片付けのしかた				
給食 昼休み そうじ	☆園では、食べ終わるまで時間を要してい た。中には、嫌いな食べ物を前にして、 黙ったまま過ごす子どももいる。。早く食 べ終わった子どもはそうじをしている。						☆食事の時間は個人差が大きいので 最初は多めに時間を設定。(好 き嫌いの指導も含めて)				
5	音楽 校歌 うたでなかよし										
下校	11:50	11:45	11:45	11:45	11:45	14:55					
<p>☆テーマ学習 「がっこうだいすき～はじめまして～」 (生活科をメインに 国語・算数・図工・音楽・体育・道徳・学活との合科)</p> <p>□生活～自己紹介しよう・ひまわりロードを歩いてみよう □音楽～校歌を歌おう・じゃんけん列車・うたでなかよし</p> <p>□国語～「あさ」「なんていうかな」 □算数～1～10までの数 □学活～廊下の歩き方・靴擦の使い方</p> <p>☆スタートカリキュラム実施期間中は...</p> <p>○個人差が大きいことに配慮し、1時間(45分間)を通して行わず、さまざまな学習活動を組み合わせて行う。</p> <p>○時間的な余裕をもち、子どもをせかせかし、慌てさせたりしないように、時間的ゆとりをもって、準備のための時間や終了時刻を設定する。(特に学校行事等)</p>											
【 ○環境の構成 *支援(留意点) ☆準備等 】											
<p>○一週目に身につけたことは、毎日繰り返して行い、習慣化を図る。</p> <p>○しばらくは、休み時間に行ってよい範囲を教室付近にする。</p> <p>○地区子ども会は、地区名カードを準備して、地区長さんが来たとき、お迎えをスムーズにする。</p> <p>○避難経路を一緒に歩きながら確認をする。</p> <p>○給食については、分かりやすく園での経験を確認したことを生かして、準備をさせる。(ただし、火傷には十分に留意する。)</p> <p>*一人一人の下校方法をしっかり確かめ、下校先を間違えないように注意する。</p> <p>*休み時間も、なるべく複数の目で児童の安全を見守ったり、声かけをしたりする。</p> <p>*休み時間も複数の目(支援員の先生を入れて)で児童の安全を見守ったり、声かけをしたりする。</p> <p>*子どもたちのよいところ、がんばっているところを連絡帳等で家庭へ知らせ、お家の方々の不安感も減らす。</p> <p>☆下校指導を7年部へ早めに依頼(出張等をよくみて)</p> <p>☆給食開始の準備(給食台・バケツ・ごみ袋・配膳図・当番表など)</p> <p>☆PTA学年懇談会資料</p> <p>*園からの情報を思い出しながら(確認しながら)、児童の不安感をくみ取り、その日のうちに解決できるようにする。</p>											

	生活科	生活科の指導に関連するもの					
ねらい	【テーマ】「がっこうだいすき～はじめまして～」				☆左の【テーマ】を黒板等に掲示するとよい。		
	小学校生活のだいたいの様子を知り、不安を解消しながら楽しく学校生活ができるようにする。						
日	9 日 (月)	10 日 (火)	11 日 (水)	12 日 (木)	13 日 (金)		
行事	入学式 *職員会議	下校指導 *委員会活動(発足)	身体計測 下校指導	避難訓練(初期対応)	1年生給食開始 縦割り清掃開始 地区子ども会		
朝	☆文字(漢字)を書いたり、担任の似顔絵を描いたりする子どももいた。	・登校したら、ランドセルの中の物を出し、ロッカーへランドセルを入れる。 ・朝のあいさつ・朝の歌(校歌)・健康観察・1日の予定の確認 チャイムに合った行動の仕方の確認	☆着替えは、座ったままならでき。	☆トイレは、園ではすべて「洋式」だった。	かせ・お絵かきなど		
1	学活 *9時～ ☆和式に対し戸惑う子どもはあまりなし。男子では、ズボンを下ろさず用を足そうとしている姿が見られた。	学活 朝の会の進め方 *健康観察の答え方など お絵かき	学活 トイレ 水飲み場の使い方	学活 着替え *次時の身体計測に合わせて	学活 身体計測について	学活 学活 ☆「校歌」を2番も歌いたいという子ども。山の名前(駒ヶ岳と富士山、鳥海山とのちがいなど)に関心をもつ子ども	学活 音楽 学活 国語 なんていうかな(職員室・特別教室へ) ☆ひまわりロードのひまわりの数はいくつか考える子どももいた。
2	入学式 ☆玄関でのくつのはき方については確認する必要がある。	学活 靴だな傘立ての使い方	体育 並び方 ☆国語の学習で、広いところでみんなで手をつなぎたいという思いが出された。 *聴力は後日	国語 あさ ☆「おはしも」の合い言葉の意味・その理由も言える子どもが多かった。園での積み重ねが表れていた。	学活 避難訓練 *机の下に身を隠す。 *避難口を確かめる。	1から10までの数 並び方	
長休み	学活 式のふりかえり 保護者へのあいさつ 明日からのやくそく	生活 自己紹介 ①名前 ②おぼしめ ☆廊下に掲示された「ひまわり」のイラストの塗りや数に気づいている子どももいた。	☆検査全般、落ち着いてスムーズに臨んでいた。視力検査では、戸惑う子どもがいなかった。	掃除の仕方 *雑巾の絞り方 *床の拭き方	あさ ☆おぼんしきの準備を伝え忘れたため、無しで行ったが、セルフ式できちんと取ることができた。 *牛乳については、ストローの差し方に戸惑う子どもがいた。	鉛筆の持ち方 色を 運筆練習 ぬろう	
3	式	自己紹介	☆廊下に掲示された「ひまわり」のイラストの塗りや数に気づいている子どももいた。	掃除の仕方 *雑巾の絞り方 *床の拭き方	あさ ☆おぼんしきの準備を伝え忘れたため、無しで行ったが、セルフ式できちんと取ることができた。 *牛乳については、ストローの差し方に戸惑う子どもがいた。	鉛筆の持ち方 色を 運筆練習 ぬろう	
4	*玄関先で交通安全協会からお守り等をいただき、 *生活科をはじめ、それに関する子どもの様子の記録。	☆どの子どもも自分で内容を選び、ほぼはっきり言うことができた。 早く切り上げ 帰りのしたく	☆鉛筆の持ち方については、一斉には指導していない。持ち方はバラバラといってもよい。	☆汁物を最後にして、各自で取りに来させた。	☆園でもセルフ式でおかずとおつゆをおぼんにのせて運んでいて、比較的スムーズにできていた。	☆おぼんしきの準備を伝え忘れたため、無しで行ったが、セルフ式できちんと取ることができた。 *牛乳については、ストローの差し方に戸惑う子どもがいた。	
給食 昼休み そうじ			☆園では、食べ終わるまで時間を要していた。中には、嫌いな食べ物を前にして、黙ったまま過ごす子どももいる。早く食べ終わった子どもはそうじをしている。	☆汁物を最後にして、各自で取りに来させた。	☆園でもセルフ式でおかずとおつゆをおぼんにのせて運んでいて、比較的スムーズにできていた。	食事の時間は個人差が大きいので最初は多めに時間を設定。(好き嫌いの指導も含めて) 縦割り掃除開始 音楽	
5	*特に気になる子どもたちの様子を中心に記録。		☆2日目以降も、自分の下校コースをしっかりと覚えていた。			校歌 うたでなかよし	
下校	11:50	11:45	11:45	11:45	☆6年生児童をはじめ、班で温かく迎えてくれ、一緒に掃除ができた。特に拭き掃除はこれまでの経験を生かしてできていた。		
	☆テーマ学習 「がっこうだいすき～はじめまして～」 (生活科をメインに 国語・算数・図工・音楽・体育・道徳・学活との合科) □生活～自己紹介しよう・ひまわりロードを歩いてみよう □音楽～校歌を歌おう・じゃんけん列車・うたでなかよし □国語～「あさ」「なんていうかな」 □算数～1～10までの数 □学活～廊下の歩き方・靴棚の使い方等						
	☆スタートカリキュラム実施期間中は... ○個人差が大きいことに配慮し、1時間(45分間)を通して行わず、さまざまな学習活動を組み合わせて行う。 ○時間的な余裕をもち、子どもをせかしたり、慌てさせたりしないように、時間的ゆとりをもって、準備のための時間や終了時刻を設定する。(特に学校行事等)						

- 【 ○環境の構成 *支援(留意点) ☆準備等 】
- 一週目に身につけたいことは、毎日繰り返して行い、習慣化を図る。
 - しばらくは、休み時間に行ってよい範囲を教室付近にする。
 - 地区子ども会は、地区名カードを準備して、地区長さんが来たとき、お迎えをスムーズにする。
 - 避難経路を一緒に歩きながら確認をする。
 - 給食については、分かりやすく園での経験を確認したことを生かして、準備をさせる。(ただし、火傷には十分に留意する。)
 - *一人一人の下校方法をしっかりと確かめ、下校先を間違えないように注意する。
 - *休み時間も、なるべく複数の目で児童の安全を見守ったり、声かけをしたりする。
 - *休み時間も複数の目(支援員の先生を入れて)で児童の安全を見守ったり、声かけをしたりする。
 - *子どもたちのよいところ、がんばっているところを連絡帳等で家庭へ知らせ、お家の方々の不安感も減らす。
 - ☆下校指導を7年部へ早めに依頼(出張等をよくみて)
 - ☆給食開始の準備(給食台・バケツ・ごみ袋・配膳図・当番表など)
 - ☆PTA学年懇談会資料
 - *園からの情報を思い出しながら(確認しながら)、児童の不安感をくみ取り、その日のうちに解決できるようにする。

単元構想図の見方

「単元構想図」の見方（生活科）

生保内のまちが大好きになっ**単元の学習後の子どもの姿**つぱいの生保内のまちの一人として、これからも地域の生活をしようとする。

主な表現方法 文 絵
主な活動内容 まち探検をふり返る

お店のおじさんのよう
 な人になりたい。
表現を通した気付き
 またいつか家族と一緒に
 行って買い物したい。

生保内にはすごい人が
 たくさんいるんだね。
表現を通した気付き
 ひひさんに会ったら、
 あいさつをしよう。

前のようにおうちの人
 とお話をしたいなあ。
次の活動につながる思いや願い
 せっかくだから、1年生や先生たちも招待しようよ。

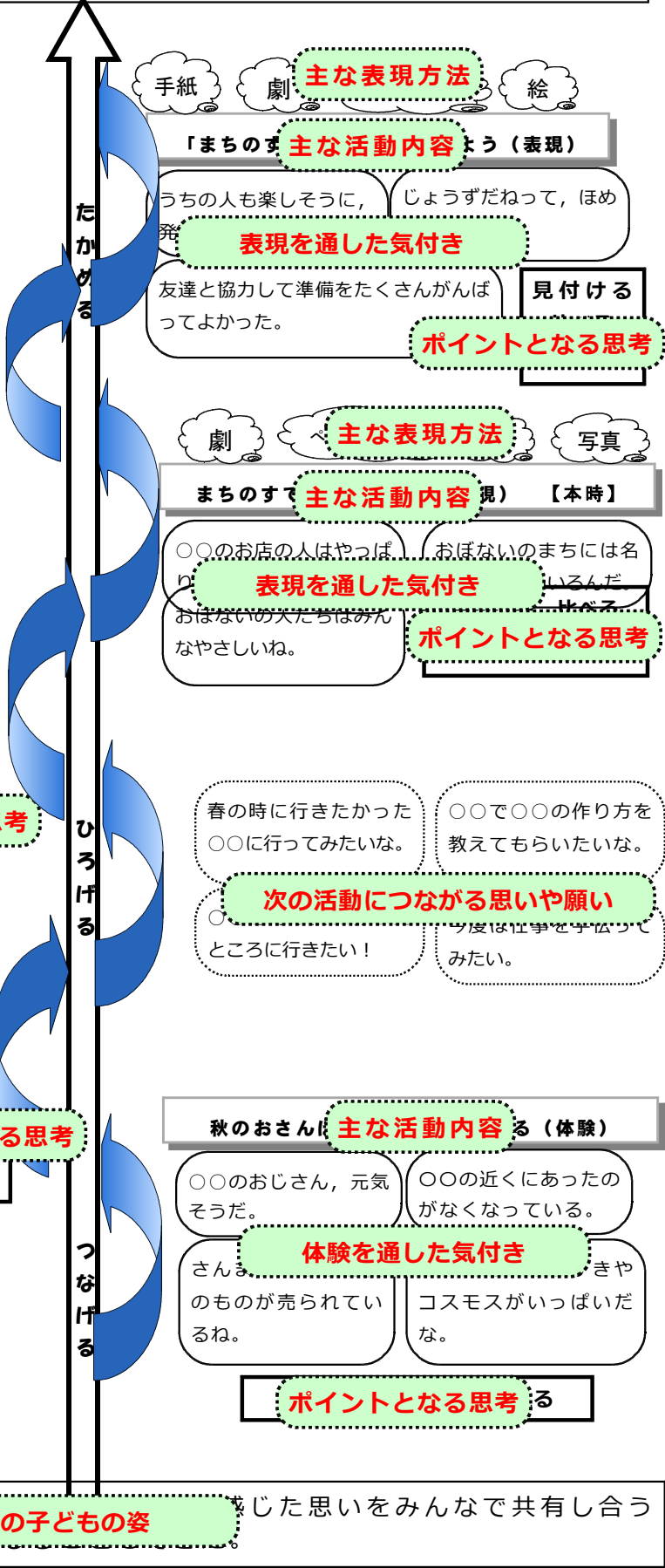
まちの人と主な活動内容 (体験)
体験を通した気付き
ポイントとなる思考

主な表現方法 絵
主な活動内容 探検で見つめる (表現)

〇〇のおじさんは、今も
 おしごとをがんばってい
 た。
表現を通した気付き
 〇〇くんが言っていたとおり、お店の前
 ともいいにおいだった。
ポイントとなる思考
 たとえる

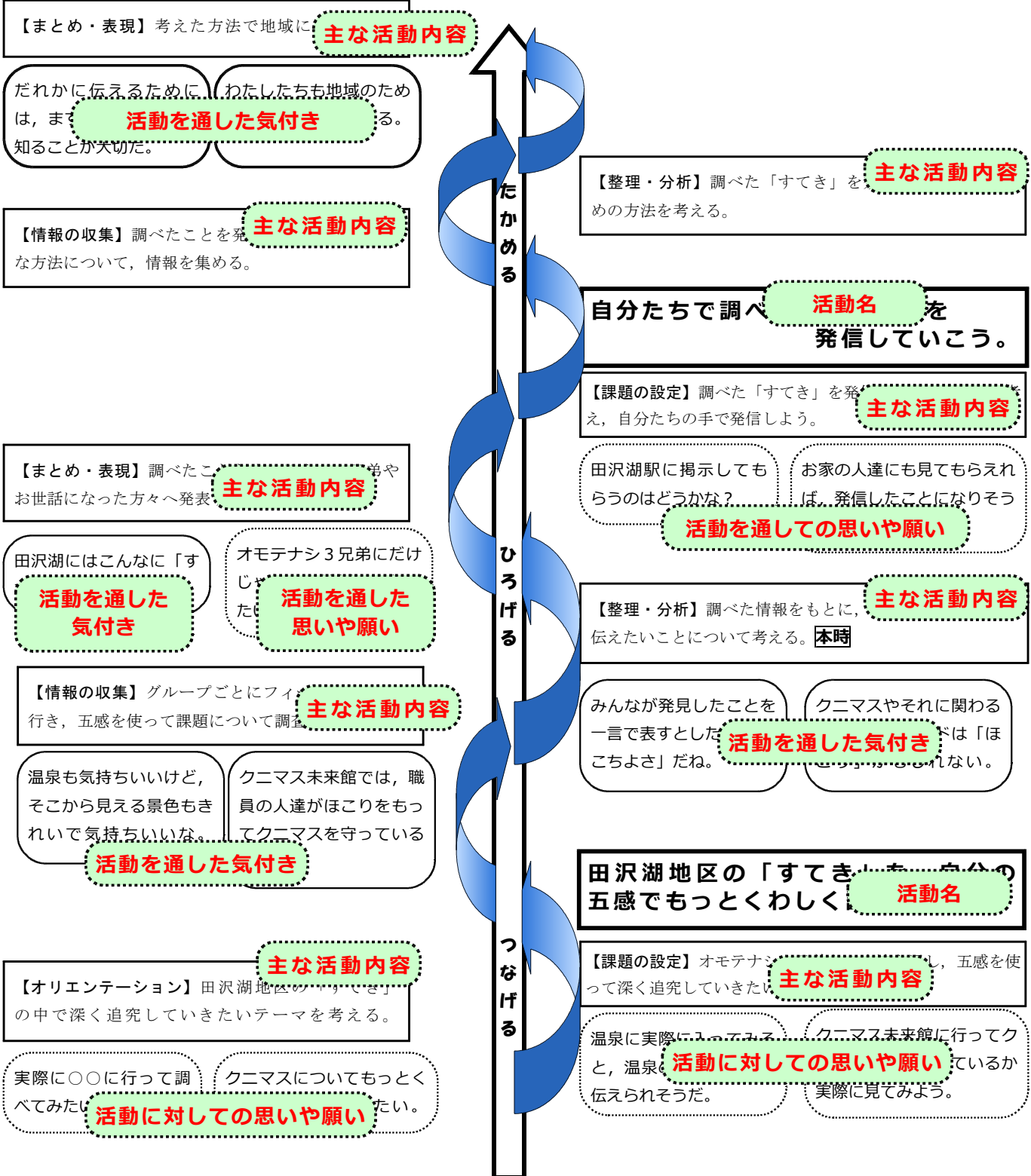
このまちの主な活動内容 思いや願い
これから学習につながる思いや願い

春の探検では店などに出
 ることができた。まちのよさを
学習前の子どもの姿 感じた思いをみんなで共有し合う



「単元構想図」の見方（総合的な学習の時間）

自分の五感を使って調査活動を行ったことで、田沢湖地区には他の地区にはない「すてき」が存在していることを、**単元の学習後の子どもの姿**葉で語ることができている。また、それを支える人々の営みも理解することができている。



自分たちのふるさつについて、「すてき」だと思ふことや自慢したいことについての知識はあるが、実感を伴った理解 **学習前の子どもの姿** それを支える人々の思いや願いには考えが至っていない。

